
新得町 道の駅基本構想

新 得 町

令和3年4月

目 次

1 道の駅基本構想の策定経過.....	1
1-1 策定経過.....	1
1-2 道の駅整備候補地の選定	3
2 道の駅基盤調査・分析.....	8
2-1 道の駅整備候補地現況.....	8
2-2 新得町の人口、産業.....	11
2-3 農業、農産物	13
2-4 観光入込客数	16
2-5 交通量	19
2-6 町民アンケート調査結果	20
3 道の駅整備基本方針の設定.....	25
3-1 新得町の現状と課題.....	25
3-2 道の駅の整備目的	26
3-3 道の駅の整備方針の設定	27
4 道の駅導入機能の検討.....	29
4-1 導入機能の設定	29
4-2 導入機能のイメージ.....	30
4-3 基本的な規模の検討.....	38
5 道の駅整備イメージ図の作成	44
5-1 施設配置ゾーニングの検討.....	44
5-2 道の駅機能配置ゾーニング	45
5-3 施設配置計画（案）	46
6 今後の課題	50
参考資料	51

1 道の駅基本構想の策定経過

1-1 策定経過

新得町では、人口減少が進みあらゆる産業において担い手・労働力不足が生じている。地理的には、道央と道東を結ぶ交通の要衝となっているが、ただ通過するだけの状態となっており、自動車利用者が滞留し、休憩する場所が無い状況となっている。また、北海道横断自動車道が町内を通っているが、インターチェンジが無く交通アクセスが非常に悪いことが人口減少の要因の一つとなっている。そのため、町の賑わいを取り戻すため、地域の特性を生かした事業を展開し、地域活性化を推進することが喫緊の課題となっている。

これまでの取組としては、平成21年から数年間、将来的な道の駅設置を検討するために町内の農業者や商業者が連携し、ホクレンスタンド隣接地において試験的に地場産品直売所「いらっしやいしんとく かあちゃん市場」などの取組を実施してきた経過はあるが、具体的な計画の策定には至っていなかった。

その後、平成30年から役場の若手職員による政策検討チームが「道の駅の設置」をテーマに独自でアンケート調査や勉強会などを行い、観光・経済・人的交流の拠点として道の駅を設置し地域の活性化を図る必要があることの提案が、令和2年3月にあった。これらの提案等を受け、持続可能なまちづくり、交流人口、関係人口の創出に向けて、道の駅基本構想を策定することとなった。

策定にあたっては、道の駅整備候補地の絞り込みを行うとともに、道の駅の導入機能や規模等を検討することを目的として、様々な見識を持つ町民10名からなる「道の駅」整備検討委員会を設置し、町からの諮問に基づき検討を行った。その諮問に対する答申内容を反映した「道の駅基本構想」を検討し、策定した。

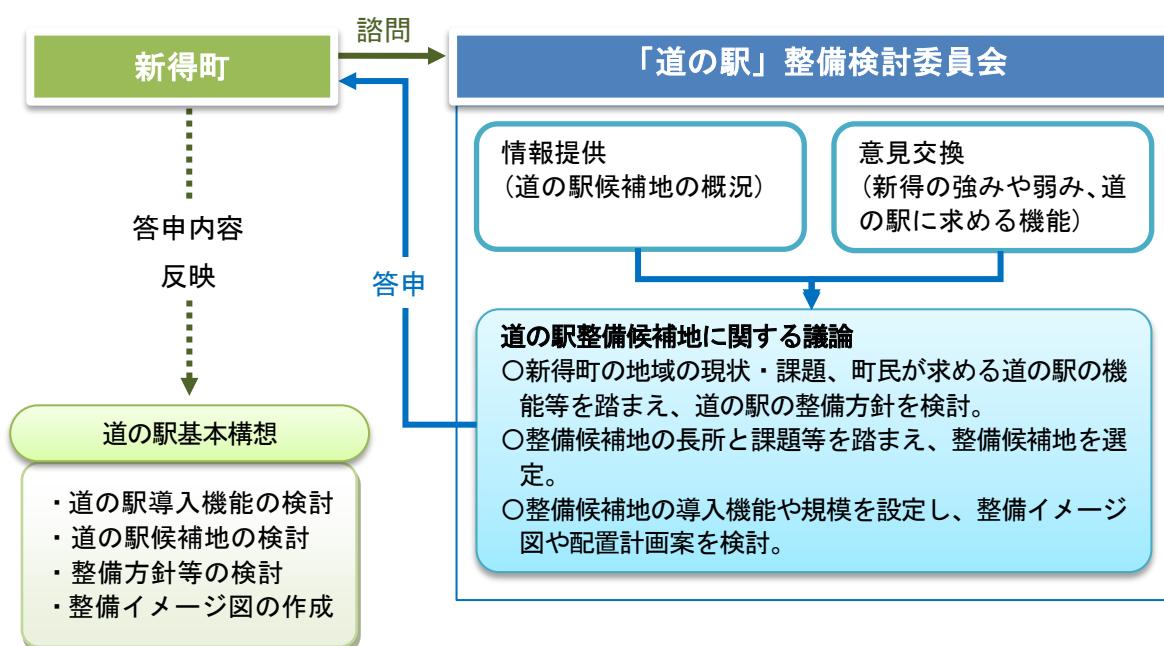


図 1 道の駅基本構想策定までの流れ

道の駅基本構想策定までの、「道の駅」整備検討委員会での開催概要を以下に示す。

表 1 「道の駅」整備検討委員会の開催概要

協議会開催日／場所		主な議題
第 1 回	令和2年9月2日 新得町公民館 中ホール	・道の駅アンケート結果について ・道の駅基本構想策定の目的、検討内容の説明 ・道の駅整備候補地（2カ所）の概要の説明 ・道の駅の説明 ・十勝管内における道の駅の整備状況（情報提供） ・道の駅事例紹介（道総研）
第 2 回	令和2年9月30日 新得町公民館 研修室	・S W O T分析でみる新得の強みと弱み ・道の駅の基本方針と具体的な機能について
第 3 回	令和2年10月21日 新得町公民館 研修室	・道の駅基盤調査・分析の報告 ・道の駅の導入機能に関する議論 ・道の駅整備候補地に関する議論
第 4 回	令和2年11月25日 新得町公民館 研修室	・新得駅前周辺整備構想、旭川十勝道路の情報提供 ・道の駅の導入機能に関する議論 ・道の駅整備候補地に関する議論・候補地の選定 ・道の駅施設設定とゾーニングに関する議論
第 5 回	令和3年1月20日 新得町公民館 中ホール	・道の駅アンケート分析 ・道の駅整備イメージに関する議論
第 6 回	令和3年2月24日 新得町公民館 中ホール	・道の駅基本構想について
—	令和3年3月15日 ～3月28日	・道の駅基本構想案のパブリックコメントを実施 意見提出者数 15名、提出意見数 71件
第 7 回	令和3年4月26日 新得町公民館 研修室	・道の駅基本構想案のパブリックコメント結果について ・意見・提案等に対する町の考え方（案）について ・道の駅基本構想の修正案について

1-2 道の駅整備候補地の選定

「道の駅」整備検討委員会において、2カ所の道の駅候補地について議論を行い、様々な視点から比較検討を行った結果、新得町における道の駅は、「新得スマートインターチェンジ（以下「新得S I C」と表記）付近」を候補地として選定することとなった。

なお、新得S I C付近を選定した主な理由は、次ページに示す。

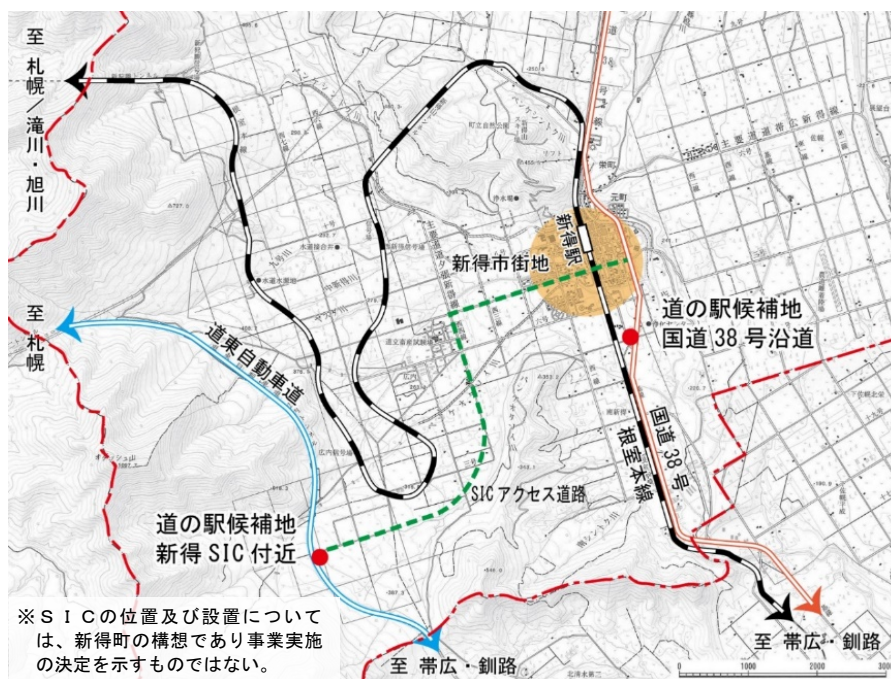


図 2 道の駅整備候補地（2カ所）の位置

表 2 道の駅整備候補地（2カ所）の長所と課題

整備候補地	長所	課題
新得S I C 付近	・道東自動車道利用者の立ち寄り客を獲得しやすい。また、高速道路（札幌→帯広方向）から、候補地がよく見える位置にある。 ・眺望が良く、十勝エリアを一望でき、阿寒の山並みも見える。 ・活用可能な面積が大きく、様々な使い方を検討できる。（例：修景としてのそば畑・牧草ロールの配置、キャンプ場の設置等） ・道東道の交通量が町内で一番多い。今後も4車線化及び釧路までの延伸により交通量の増加が望める。 ・旭川十勝道路が整備されれば、上川方面とのネットワークが充実する。	・市街地から距離（約8km）があり、地域住民や一般道路利用者の立ち寄り客を獲得しづらい。 ・新得S I Cを降りて、町内や十勝管内を回遊したくなるような工夫が必要となる。 ・新得SIC供用開始後のオープンとなり、スケジュールが不確定。
国道38号沿道	・市街地からも近く、国道利用者だけではなく、地域住民も利用しやすい。 ・道の駅利用客を市街地まで引き込みやすく、町内の飲食店や商店での消費が期待できる。 ・庭園を導入することで、十勝と上川を結ぶ北海道ガーデン街道の新たな拠点としての整備が可能。	・新得S I Cから遠くなり、高速道路利用者の立ち寄り客を獲得しづらい。 ・候補地内には樹木が生い茂っており、やや傾斜のある高低差のある地形であることから、土地の造成費がかかる。 ・駅前周辺再整備施設と競合を避ける必要がある。

表 3 道の駅整備候補地（2カ所）の比較一覧

		新得S I C付近	国道38号沿道
交通量	現状交通量	24時間交通量(H27)：6,305台 (町内でもっとも多い交通量)	24時間交通量(H27)：3,944台
	将来交通量	千歳までの4車線化及び釧路までの高速道路延伸により増加傾向にある。また、旭川十勝道路※ ¹ が整備されれば、上川方面とのネットワークが形成され、さらなる交通量の増加が予想される。	—
アクセス	住民のアクセス	市街地から距離（約8km）あり、地域住民は立寄りにくい。	市街地から近いこと、地域住民は利用しやすい。
	観光客のアクセス	道東自動車道からの観光客の利便性は良い。 さらに旭川十勝道路が整備されれば、上川方面からのアクセス性も大きく向上する。	国道を通る観光客の利便性は良い。 ただ、道東自動車道からの立ち寄り客は獲得しにくい。
町内の回遊性		新得S I Cを降りて、町内や十勝管内を回遊したくなるような工夫が必要。	市街地から近いことから、道の駅から市街地へ観光客を引き込みやすく、町内の飲食店や商店での消費が期待できる。
敷地特性		高速道路（札幌→帯広方向）から、候補地が良く見える。 眺望が良く、十勝エリアを一望でき、阿寒の山並みも見える。 活用可能な面積が大きく、様々な使い方を検討できる。	候補地内には樹木が生い茂っており、やや傾斜のある高低差のある地形。 庭園を導入することで、十勝と上川を結ぶ北海道ガーデン街道の新たな拠点としての整備が可能。 ピーク時対応の駐車場規模を考えると、敷地の大半を駐車場が占める。
その他		新得S I C供用開始後のオープンとなるため、スケジュールが不確定。	新得駅前再整備構想※ ² が進められている中、市街地内で同じような競合施設とならないよう、役割分担の検討が必要。

【新得S I C付近を選定した理由】

上記表3の比較に示したとおり、それぞれのメリット・デメリットはあるが、道東自動車道は現状交通量及び将来交通量の多さに加え、十勝清水IC～トマムICまでの4車線化や上川・釧路方面など、今後の高速道路網の整備によってさらなる交通量の増加が予想される。

生活や産業の基盤となるインフラ整備は今後にも必要不可欠であり、新得S I Cの整備によって「地域観光・交流人口・関係人口の創出」、「防災体制の強化」、「地域医療・救急医療」の充実に必ず繋がるものであり、設置への町民の期待は高い。S I Cの設置は、町長公約であるとともに、本町の最上位計画である第8期新得町総合計画における主要施策であり、必ず成し遂げたいという強い思いを持って数年来取り組んできたところである。

このことから、道の駅とS I Cをセットで整備することにより、確実に付近の交通量増加に繋げることで、新得町のみならず、西・北十勝地区のアクセスの利便性アップによる経済効果が見込まれ、道の駅とS I C双方の整備効果を高める有効な手段だと考えられる。

なお、大きなデメリットとして、「市街地から遠いことにより地域住民が利用しづらいこと」が挙げられるが、多くの町民に利用していただけるよう、定期的なイベントなど魅力のある取組に加え、循環バスの運行などを検討していく。

※ 1：旭川十勝道路について

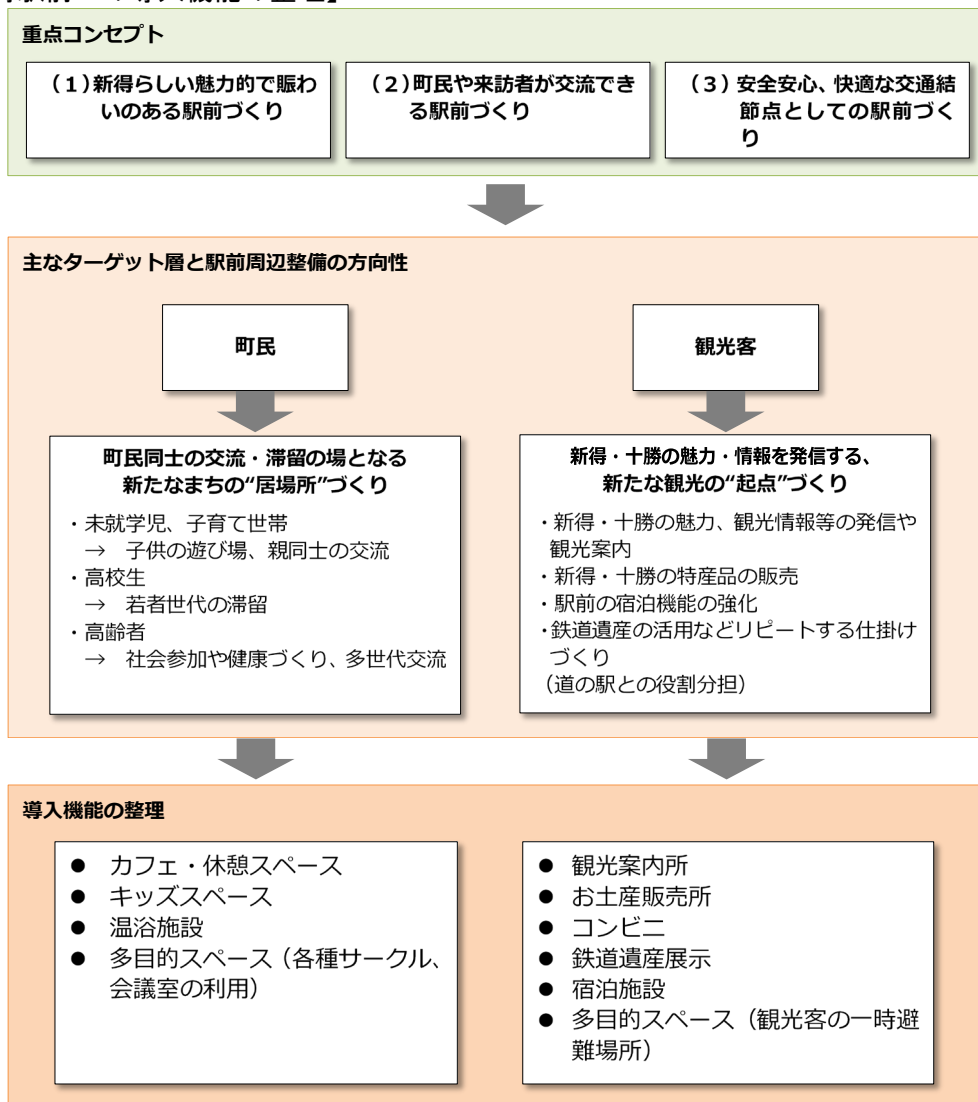
- ・旭川市（旭川北IC）を起点とし、富良野市を經由して占冠村（占冠IC）に至る延長約120キロメートルの地域高規格道路
- ・北の峰IC～富良野IC～布部IC間の富良野道路が平成30年11月に開通



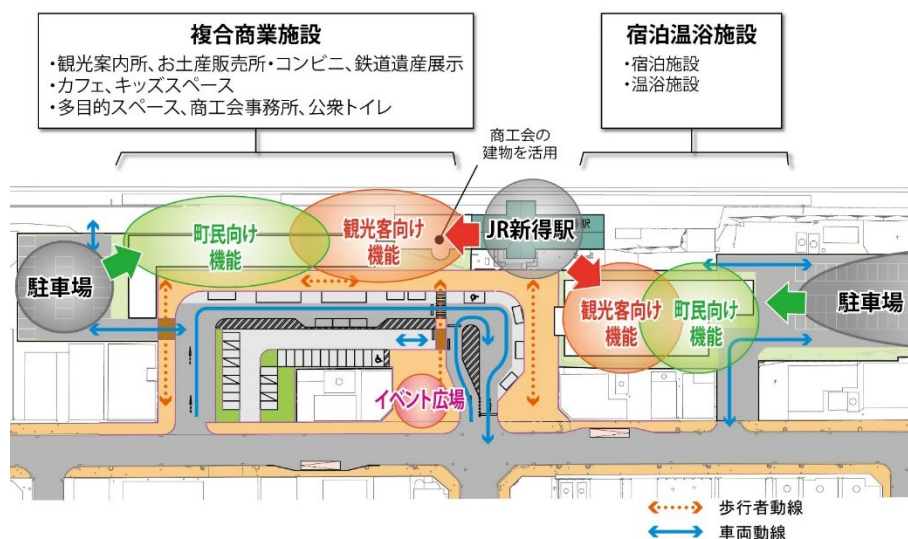
※ 2：新得駅前再整備構想について

（第4回「道の駅」整備検討委員会（令和2年11月25日）資料より）

【新得駅前への導入機能の整理】

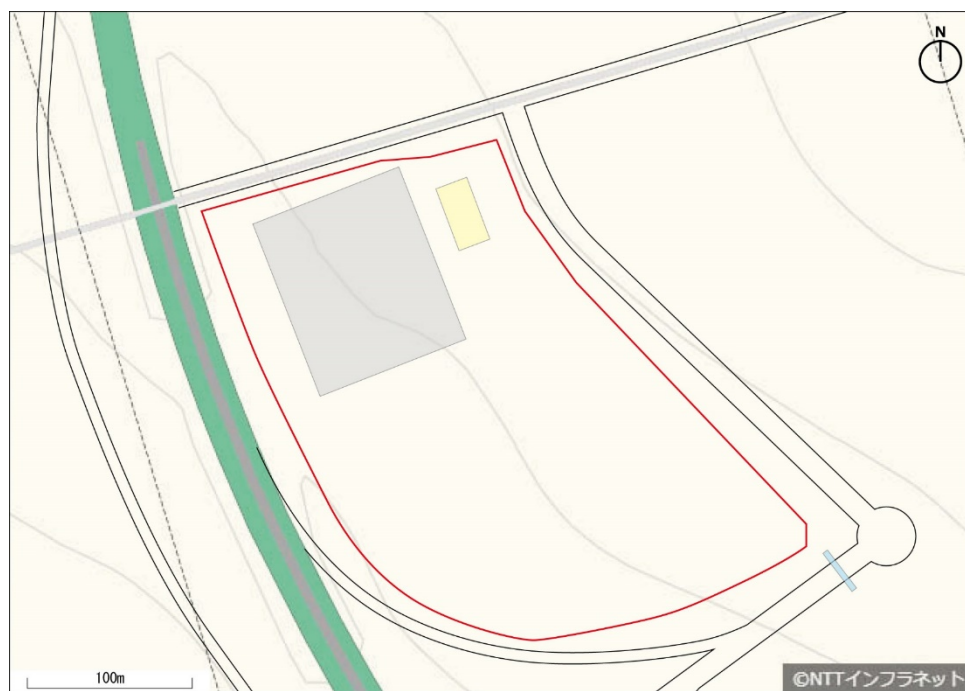


【施設配置の考え方】



参考：道の駅整備候補地の概略配置計画の検討

道の駅整備候補地（2カ所）の概略配置計画を検討した。概略配置計画は、ピーク時に必要な駐車場規模と仮に800㎡（20m×40m）程度の施設を候補地に配置したと設定。以下に、概略配置計画を示す。国道38号沿道の候補地は大半が駐車場で占められる。



新得S I C付近の場合



国道38号沿道の場合

図 3 道の駅整備候補地（2カ所）の概略配置計画

2 道の駅基盤調査・分析

新得町における道の駅に求められる役割と効果を検討するために、道の駅整備に関連する調査・分析結果や統計資料等の整理を行った。

2-1 道の駅整備候補地現況

道の駅整備候補地である「新得S I C付近」の状況を次頁より示す。

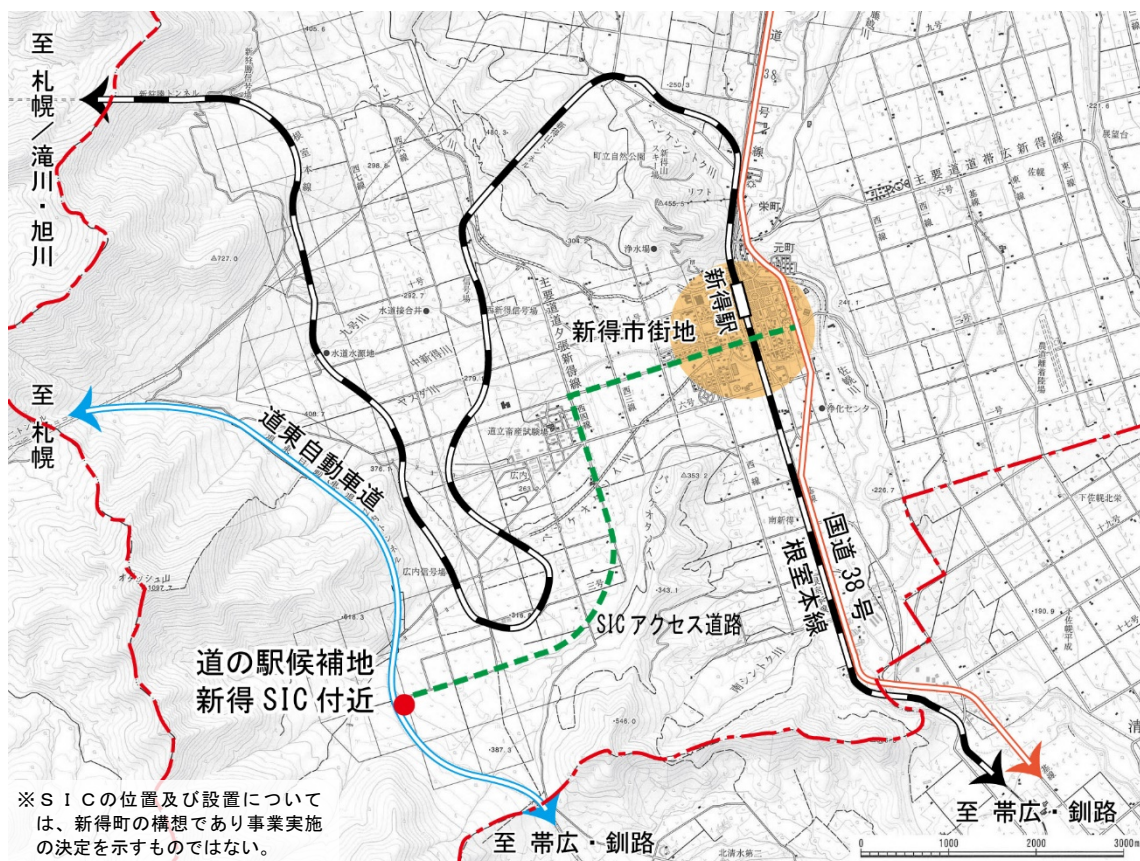
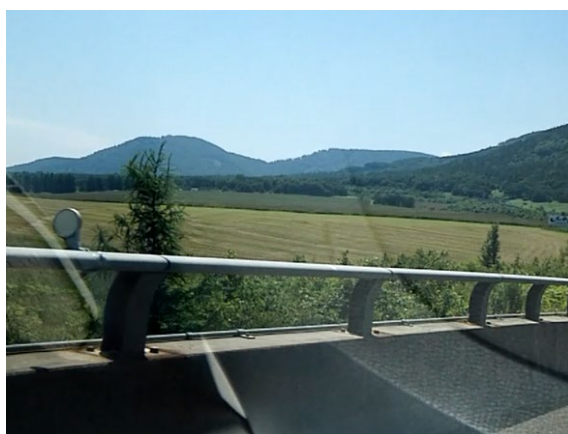


図 4 道の駅整備候補地位置



①道東自走車道からみた候補地（遠景）



②道東自走車道からみた候補地（近景）



③候補地からみた道東自動車



④候補地内の砂利道



①～④の撮影地点

図 5 新得S I C付近の現地の様子（その1）



⑤候補地の全景（新得町方面）



⑥候補地の全景（清水町方面）



⑦候補地に架かる橋



⑧候補地の橋からみた道東自動車道



⑤～⑧の撮影地点

図 6 新得S I C付近の現地の様子（その2）

2-2 新得町の人口、産業

町内の人口は、1975年(昭和50年)の約11,000人以降、減少傾向が続いており、2015年(平成27年)には約6,300人と概ね半数の水準となっている。また、社人研の推計によると2045年(令和27年)には約3,700人まで減少することが見込まれている。

産業別人口では、農業が最も多く、人口の18%を占めている。

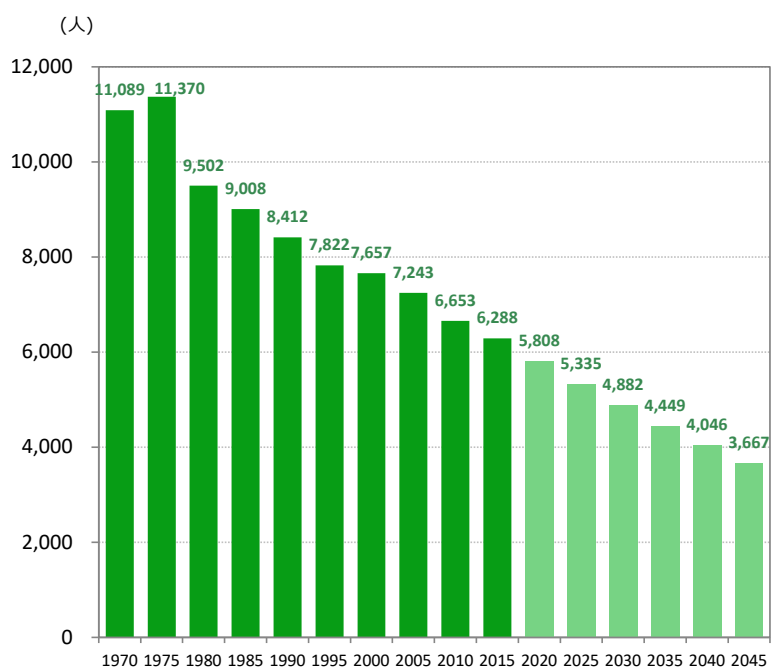


図 7 新得町内の人口推移

(出典：2015年までは国勢調査、2020年以降は社人研推計値)

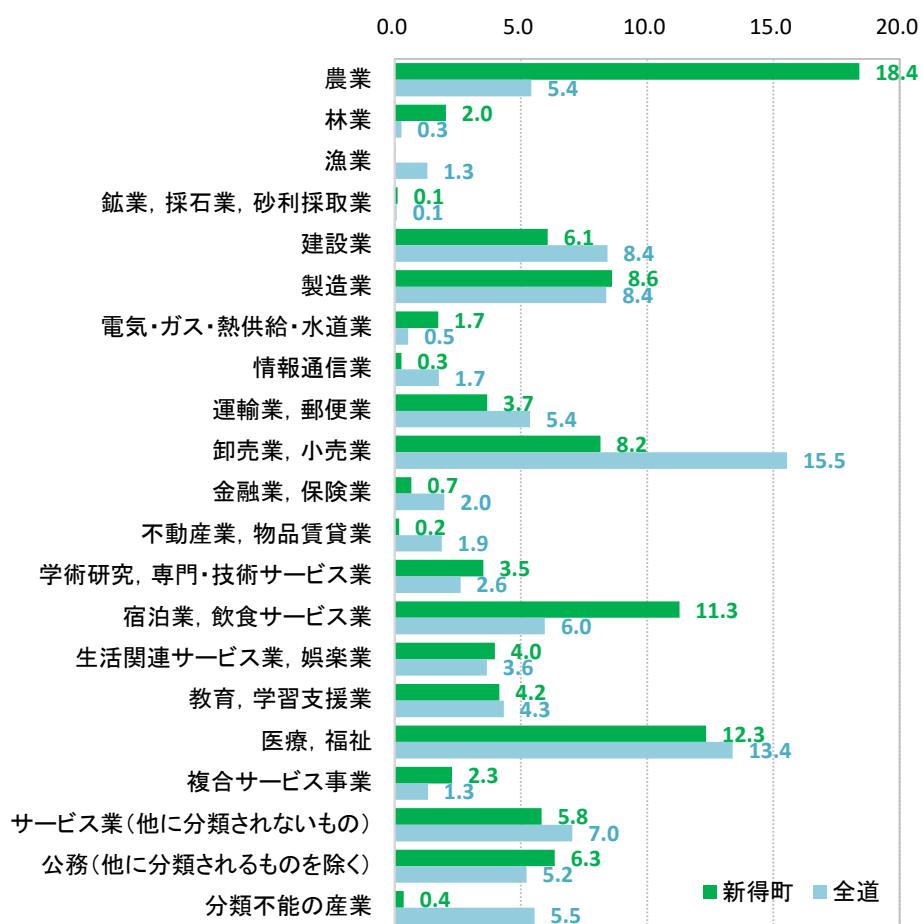


図 8 新得町内、全道の産業別人口の割合

(出典：国勢調査)

2-3 農業、農産物

(1) 農業

農業産出額は、最近5ヶ年で緩やかに増加傾向にあり、平成30年は102.5億円である。新得町では農業産出額の約9割が畜産であり、畜産の中でも乳用牛が半数を占めている。

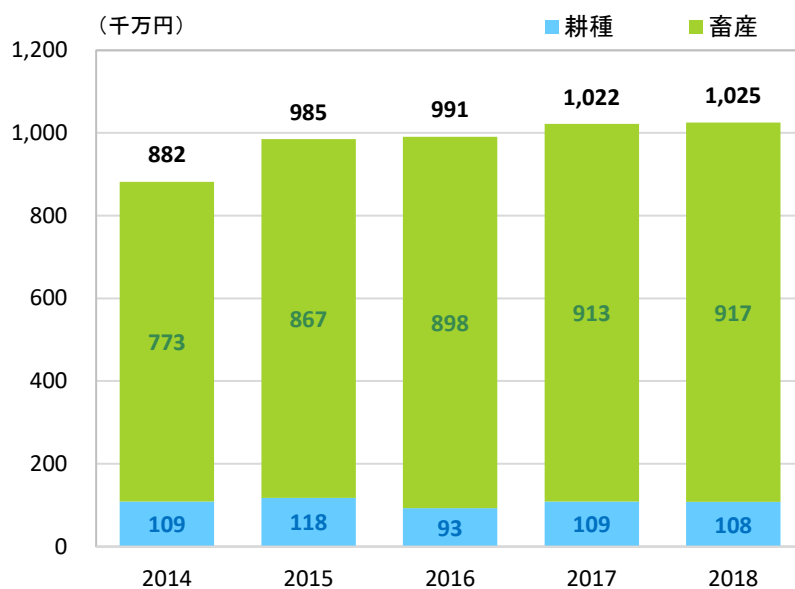


図 9 新得町の農業産出額（推計値）の推移

（出典：農林業センサス）

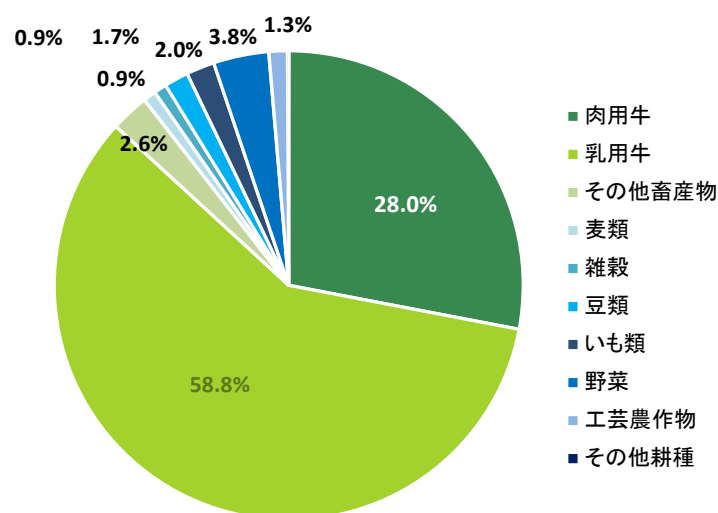


図 10 新得町の農業産出額の割合（2018年度）

（出典：農林業センサス）

主要作物作付面積は、最近10か年で概ね4,800haで推移しており、2018年(平成30年)は4,867haとなっている。

2018年(平成30年)の主要作物面積の割合は、牧草(54.6%)が最も多く、次いでデントコーン(19.5%)と家畜飼料が多くなっている。その他には、小麦(7.9%)、そば(5.4%)、小豆(4.8%)の順となっている。

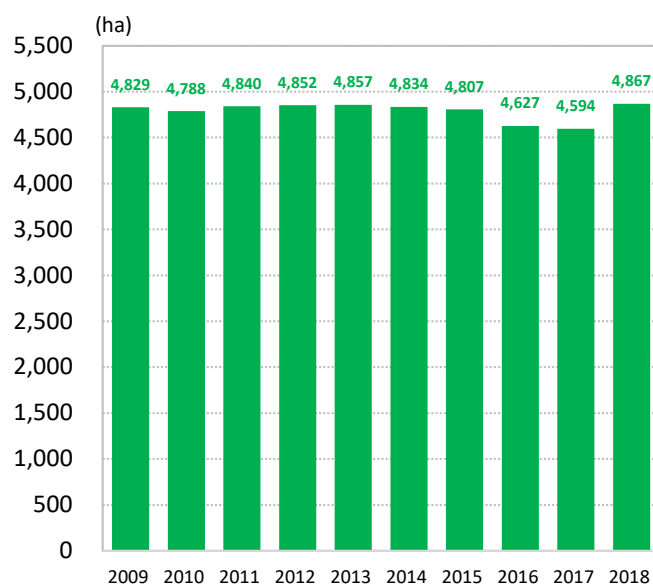


図 11 新得町の主要作物作付面積の推移

(出典：新得町町勢要覧 資料編)

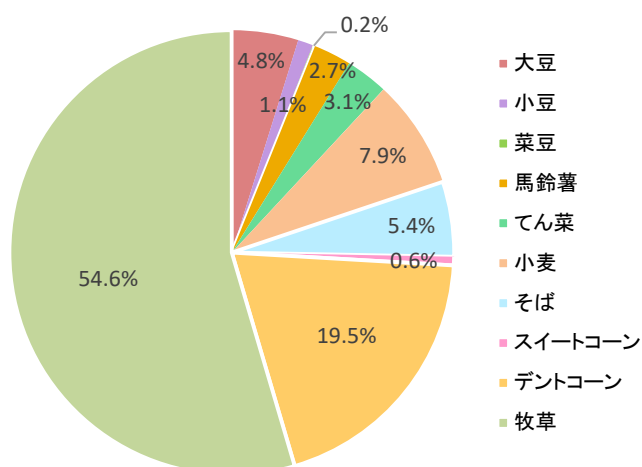


図 12 新得町の主要作物作付面積の割合 (2018年)

(出典：新得町町勢要覧 資料編)

(2) 農作物

新得町の主な農産品として、小麦、そば、豆類（大豆、小豆）、馬鈴薯、乳製品等があげられる。

【新得町の主な農産品】

○新得そば

昼夜間の温度差と肥沃な畑で栽培された高品質なそば。
ボタンそば、キタワセそば、レラのカオリの3種類がある。

○小麦

新得町の小麦はすべて「秋まき小麦」。秋に種をまいて、次の年の夏に収穫するため、約1年かけてじっくりと育てる。品種は「きたほなみ」という品種で、主に日本麺に使われている。

○豆類

主に、大豆と小豆が作付けされている。小豆は、和菓子の原材料の一つで、「あん」や「ようかん」にすることが多く、国内消費量の6～7割が北海道産。

○馬鈴薯

トヨシロ、ワセシロ、サヤカ、スノーデン、でん粉の原料となるコナフブキが主に作付けされている。

○チーズ・アイスクリーム等

新得町では、豊かな自然の中でストレスなく育てられた乳牛からつくられるチーズやアイスクリーム等がある。

2-4 観光入込客数

(1) 日帰り・宿泊別、道内・道外別

観光入込客数のここ20年間程度の推移をみると、ピークは1999年(平成11年)の約127万人で、以降年度ごとで増減はあるものの減少傾向となっている。特に2015年(平成27年)以降は大きく減少し、2019年(令和1年)は、コロナウィルスの影響によりスキー客の入込が減少し、約63万人となっている。

日帰り、宿泊別では、9割が日帰り客であり、観光消費額の大きい宿泊客をいかに増やすかが課題となる。

道内、道外客別では、2005年(平成17年)以降道外客が緩やかに増加しており、2018年(平成30年)は約47万人と道内客よりも多い結果となっている。

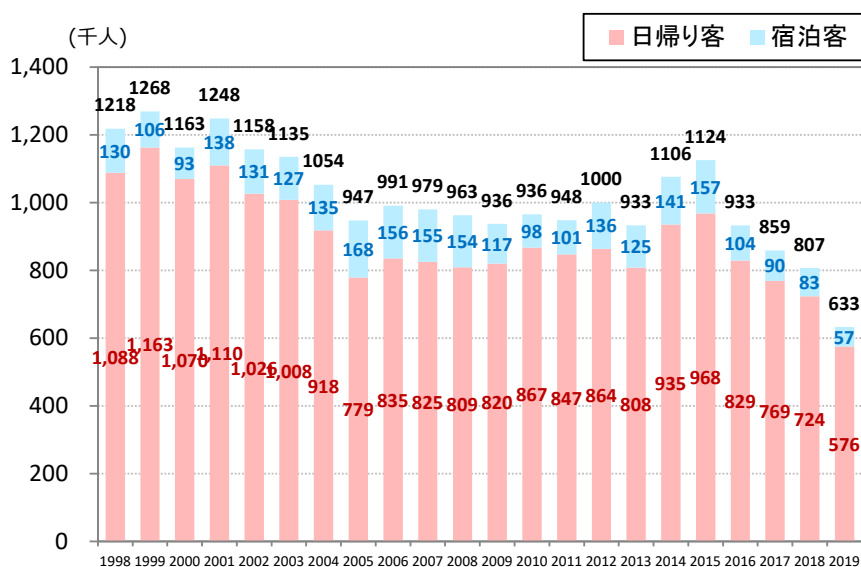


図 13 新得町の観光入込客数の推移（日帰り・宿泊別）

(出典：北海道観光入込客数調査報告書)

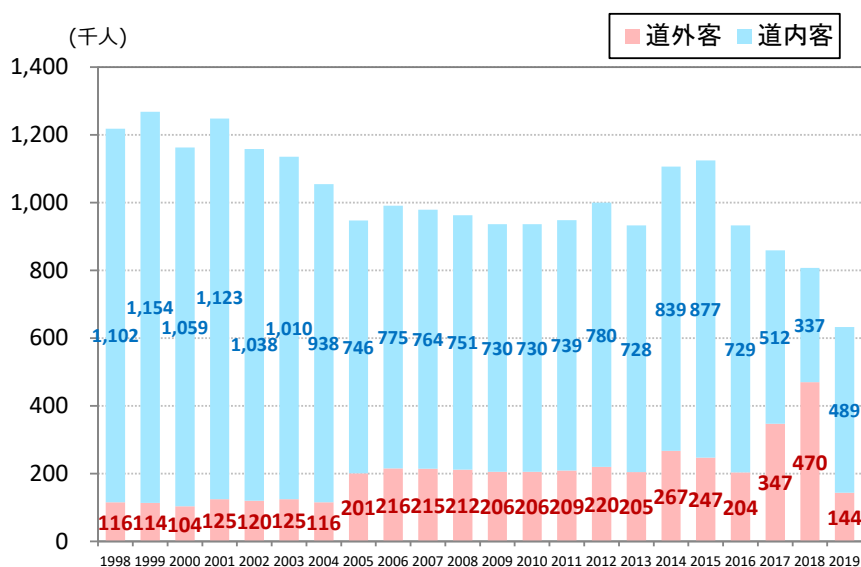


図 14 新得町の観光入込客数の推移（道内・道外別）

(出典：北海道観光入込客数調査報告書)

(2) 季節変動

新得町の観光入込客数の季節別の入込状況をみると、1月が最も多く、次いで2月となっている。

月別の比率について、全道全域と十勝エリアの割合と比較すると、全道及び十勝エリアは夏季に観光客のピークが来るのに対し、新得町は冬季にピークが来ている。また、観光ピークの冬季前にあたる10～11月の観光入込客数の落ち込みが大きい。

繁忙期と閑散期の入込客数の差をみると、全道地域や十勝エリアに比べると、季節による入込の変動が大きい。2019(令和1)年度は、コロナの影響を受けているため、新得町および他エリアの繁忙期と閑散期の変動が例年と異なっている。

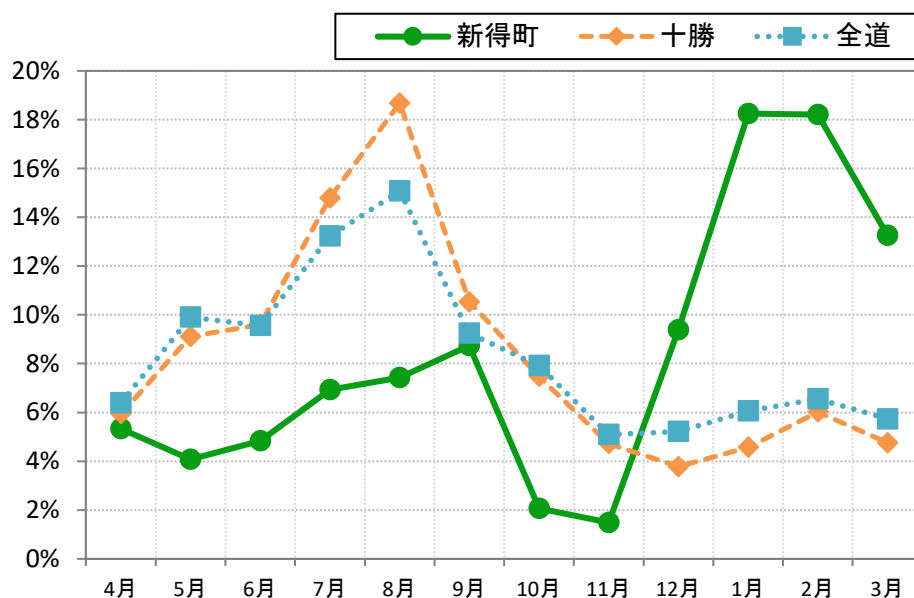
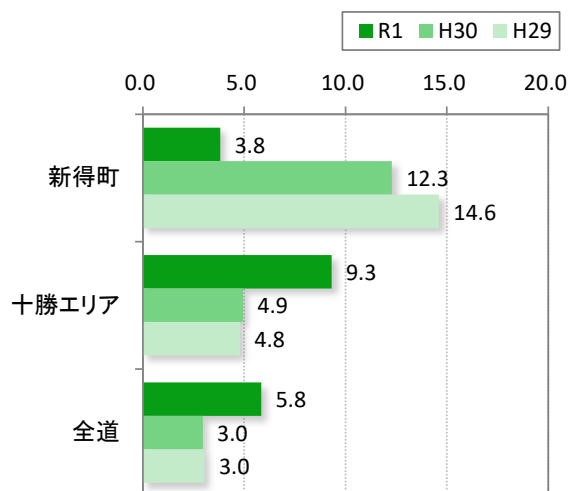


図 15 新得町の観光入込客数の月別比率【2018年度】

(出典：北海道観光入込客数調査報告書)



繁忙月と閑散月の割合が大きいほど、繁忙月と閑散月の入込客数に開きがあることを意味している。

図 16 観光入込客の繁忙月と閑散月の割合

(出典：北海道観光入込客数調査報告書より算出)

(3) 外国人観光客

新得町は国際的なリゾート拠点であるサホロリゾートを有し、外国人宿泊客延数は6万人泊前後で推移しており、2015年(平成27年)には約7.7万人泊の外国人宿泊客延数があった。新得町の隣の占冠村にもトマムリゾートがあり、新得町と占冠を合わせると、年間約37万人泊の外国人観光客の市場規模がある。

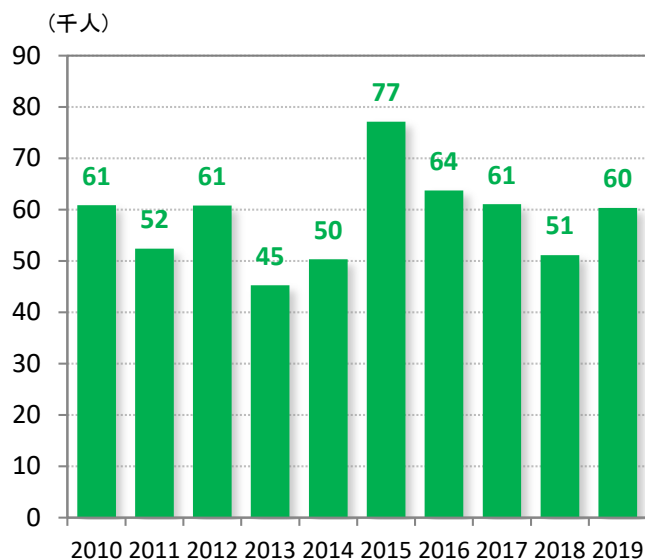


図 17 新得町の外国人宿泊客延数の推移

(出典：北海道観光入込客数調査報告書)

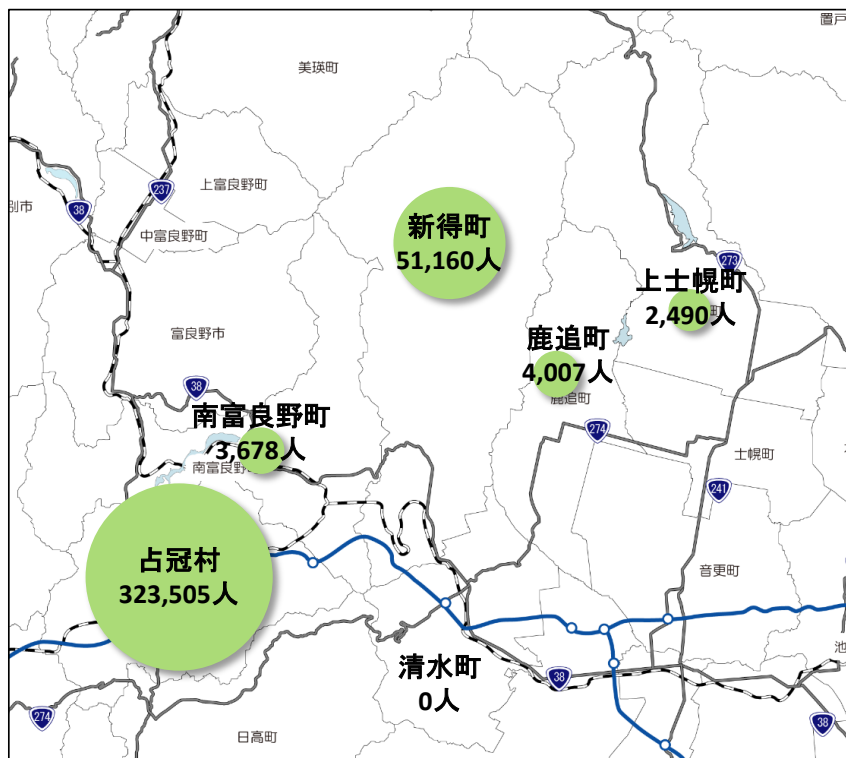


図 18 新得町及び周辺地域の外国人宿泊客延数【2018年度】

(出典：北海道観光入込客数調査報告書)

2-5 交通量

道の駅整備候補地における2015年(平成27年)の24時間交通量は、道東自動車道(トマム～十勝清水間)で6,305台となっている。なお、2010年に比較すると交通量が減少しているが、2010年は道東自動車道無料化社会実験が実施されていたことによる影響が大きい。

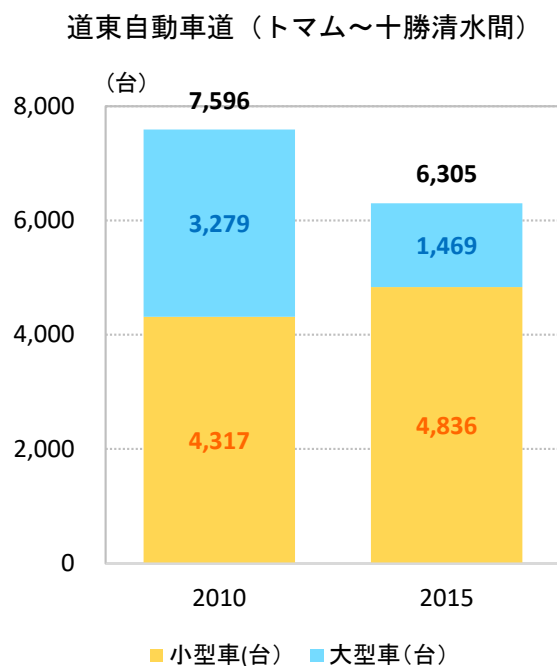


図 19 新得町道の駅候補地の24時間交通量【2015年調査】
(出典：交通量センサス)

2-6 町民アンケート調査結果

(1) 調査概要

町民アンケート調査は、新得町役場の若手職員が、道の駅構想の検討材料の収集及び町民ニーズに即したより機能的で集客力の高い道の駅の検討を進めることを目的に平成30年度に実施したものである。この調査結果から、道の駅の検討の参考となりそうなアンケート結果及び意見の抽出・整理を行う。

表 4 平成30年度若手政策 道の駅に関するアンケート調査概要

調査対象	町内在住の18歳以上の住民のうち、男女別各年齢層の中から無作為に抽出。
調査票数	1,000部
回収数	277部（回収率27.7%）
調査期間	平成30年11月30日～12月28日
調査方法	調査票の郵送

(2) 回答者属性

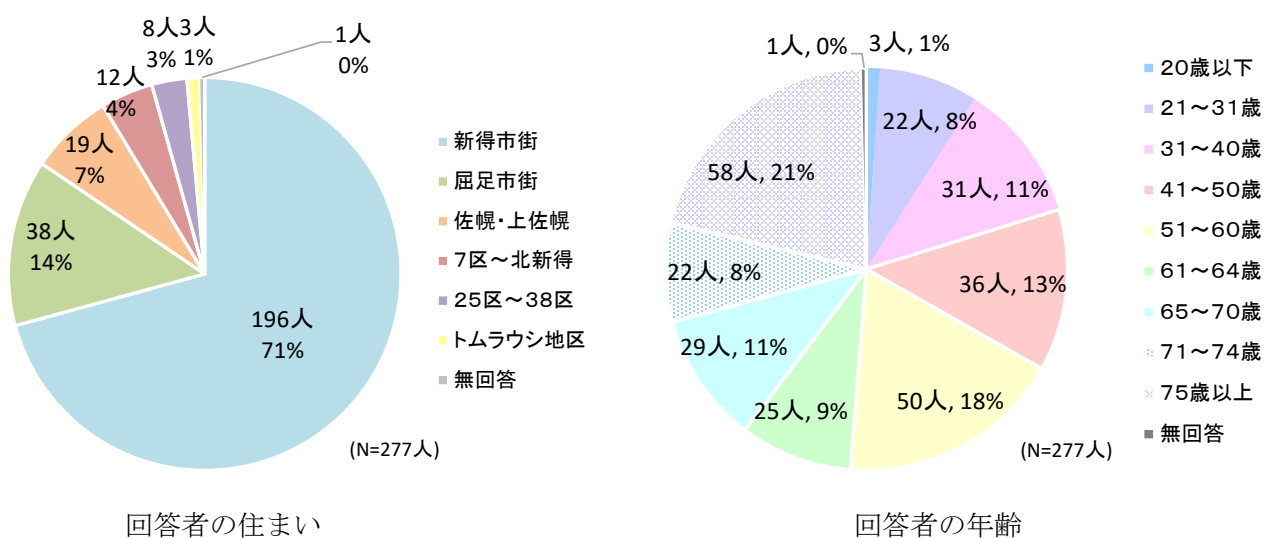


図 20 回答者属性

(3) 行ってみたい道の駅

道内で行ってみたい道の駅については、道の駅しかおい（鹿追町）が53人と最も多く、次いで、道の駅ピア21しほろ（士幌町）が49人、道の駅なかさつない（中札内村）が42人と十勝管内が多く選ばれている。

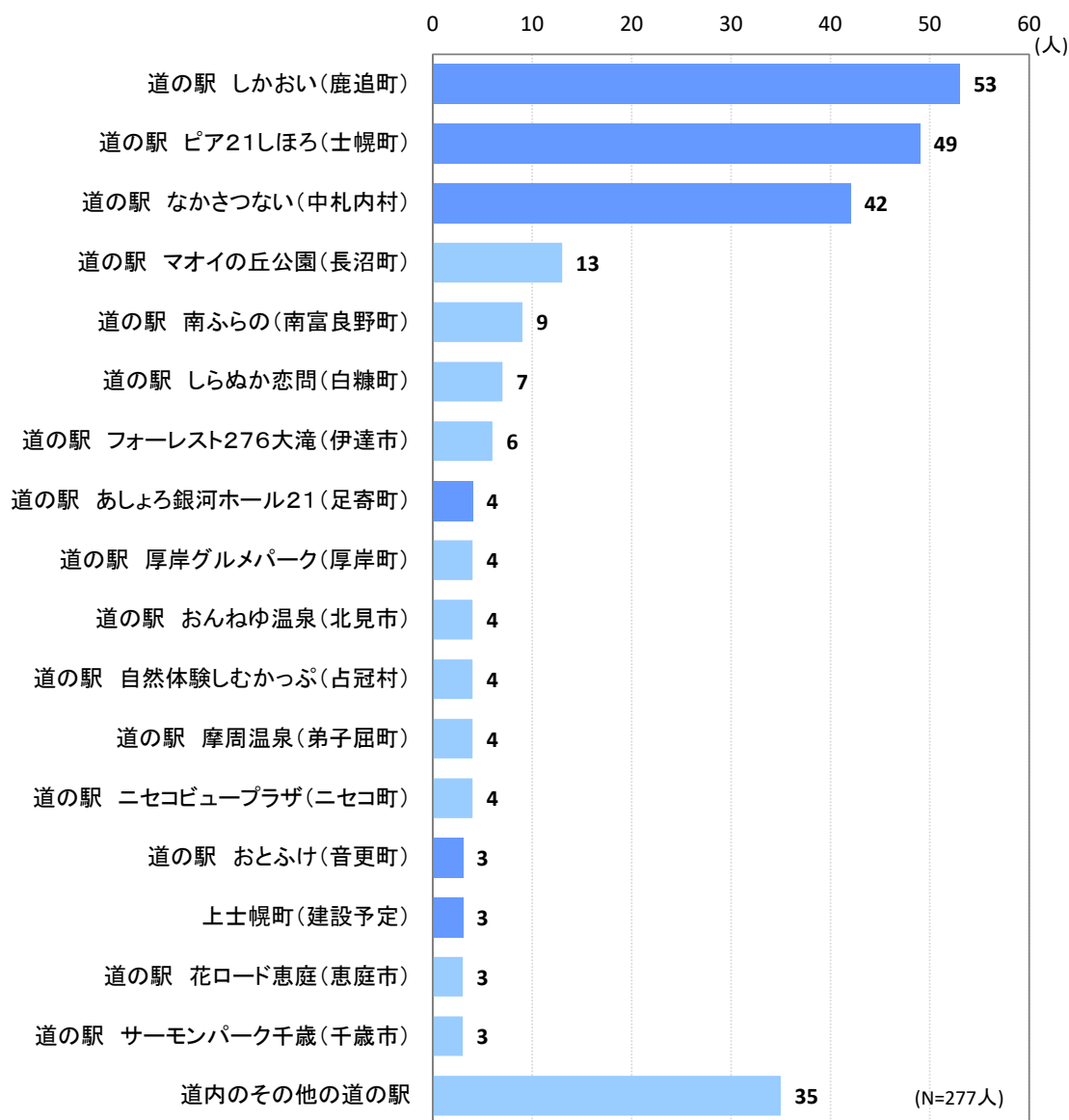


図 21 行ってみたい道の駅

※棒グラフの濃い青色は、十勝管内の道の駅を示す。薄い水色は、十勝管内以外の道の駅または道の駅以外を指す。

(4) 道の駅に関する自由意見

表 5 道の駅に関する自由意見（その1）

自由意見
観光客が相手なので、必要とするなら目玉になるような多くの商品を扱うこと、また新得ならではの特徴ある施設を造ること、ありきたりの道の駅では先は無い
特産品の価格
町民も利用しやすい場所、行きやすい場所がよいと思う。公民館機能も併設しては。
納品を継続的にできる人材の養成育成、他町村からの仕入れも含め町内の人が買いたくなるような品ぞろえをお願いします。また、集える飲食スペース、ワンコイン食堂があれば。新得町は何に対しても本州、道内の先進地区に見学、視察には活発に行っていますが、それが成果に結びついてない、長年の間そのように感じています。
新鮮な農産物の品揃えが最も重要。そのための生産者の育成が課題。
新得町は長距離を移動される方々の通り道になると思うので、ひと息つけたり「〇〇を食べたいね！」など寄りたくなるような魅力が必要となるし、出入りのしやすさも必要だと思います。特産物や、販売する商品も求めやすい価格にしなければならぬと思います。「高いから・・・」「他のお店にも売ってるしね」とばらないよう最初の利用が肝心ですね。その際の印象が良ければ、「新得の道の駅はいいよ」と口コミになると思います。（実際に自分が利用した道の駅は他の人に良し悪しを伝えることが多いです）
新しいこと。トイレきれいなこと。新得のお知らせ。
地元プラス他町村の購売力、集客力をどのように実行できるか、成功した町、失敗した町にはそれぞれの意見がありました。人口減と情報が大切かと思いました。インターチェンジも必要かもしれませんが、道の駅の成否も大切だと思います。
道の駅があれば駅より多くの人が寄りやすいと思う。そこでちょっとした食事やソフトクリーム、コーヒー、おそば、地鶏などを気軽に手にできると好感度UP、今度は新得の〇〇に行ってみようという気持ちになるかも。そして地元の人たちも行きやすくなればまちが活気づく！
狩勝峠のドライブインが閉じてから、上富良野の道のり何も無い寂しい道になってしまったけれど、峠の十勝側に明るくきれいで広い道の駅があれば南から北上して東大雪越えを目指す時に、高速を利用しなくても狩勝通ろうよ・・・と気持ちに選択ができるし、足寄士幌方面から北上するときに、若松ダムからショートカットすることなく屈足通ると思うと考えると、ロッキーマンあたりが良いけど日当たりが悪いかなあ
箱物を次々と作るよりも、現在ある商業施設の内容充実が大切。作ってもすぐ閉鎖になるようなものは作らない方がよい。特色のない道の駅は集客にならない。
新得に道の駅をつくってもわざわざ入っては来ないと思います。便利なところに行くので新得ソバはどこに行っても買えるし、特別魅了のある物でなければこないでしょう。
子どもが居るので子ども向けの設備がある道の駅を利用している
多様性のある施設をつくってほしい(町民も観光客も楽しめる)。連泊して楽しめる施設をつくってほしい。心のいえる場をつくってほしい。新得しっかりPRできて、移住したくなるようなリピーターができるような施設にしてほしい。
何かはわからないが新得町だからできるもの。毎年1回は行きたいイベント、食べ物など何でもいとおもう。お客様を増やし町の活性化をしてもらいたい
そばの館かインターチェンジの周辺(畜試)
道の駅が出来たらそこでライブがしたい
冬は外国人が多いので、英語表記や目新しいものの発案(日本らしい物を置く)。朝ドラ撮影地にもなっているので記念館を作ってもいいのでは。峠のそばになるので季節に応じた商品を販売したり、限定品をおくのもいいと思う
道の駅の意図を考えると駅は国道38線で道道と交差するあたりがいいと思う。移動人口の増加を考える現状だから町の住民との交流する場所となる施設にしてほしい。
新得町の特色を前面に訴える内容にすべきだと思います。中途半端な物はすぐに見捨てられるので十分に内容を吟味した上で実施すべき。
駅周りと思いつつも無理かと。国道沿いであれば拓鉄、漬け物屋
札幌から新得に帰るとき、よく輪厚には寄りますが、十勝清水あたりでトイレに行きたくることがあり、新得あたりで綺麗なトイレが沢山あるICがあると少し休憩しようと立ち寄るか。夜の場合であれば、そこでご飯を済ませようとする日もあるかと思っています。ご飯物は町のブランドが出る値の少し高いものもあってもいいかと思いますが、一般的なリーズナブルご飯もあるとリピーターになる可能性があるかとも思います。
どこの道の駅も野菜は高いので主婦が喜ぶような値段の野菜を売りにすれば(品物よくて)いいとも思います。また他と同じようなどこにでもある物ではなく、「新得でしか買えない」を売りにすれば(おいしいとか、珍しいお土産でご飯にできる)いいのでは。

表 6 道の駅に関する自由意見（その2）

自由意見
おいしい食べ物、無料で遊べる場所などで集客をねらい特産品販売や飲食店で収入確保出来るような狙いで、国道沿いに作るべきだと思います。広い駐車場でトラックなどのためやすい所であれば入りやすい休憩場所になる。新得＝そばのイメージを変えられるようなチーズ、地鶏、漬け物などを含めて魅了あふれるような特産品をPRしてほしい。
地元の物はもちろんですが、そこでしか食べられない、買えない(そば以外)物・若い人も来るようなスイーツのイートインスペースや販売、木工をアピールできる、クラフトパーク(木工品、森の中の宿泊、森林保護)
地元の若物を雇用しアイデアを募る方がいいと思う(インスタ映えなど)
狩勝峠の売店閉鎖はよくない。南富良野と合同で道の駅として活用するのもいい。旭川周辺でイベント時には相当数の車両が駐車しているため、ソフトクリームだけでもいいので営業しないとイメージが悪い。
①町の特産品を販売(直売所)したり、保育所や小学生・中学生の作品を飾るなど、町内外からの集客を狙う ②写真撮りたくなるようなスポットがあれば若者もクチコミ(SNS)などで足を伸ばしてくれるかも ③体験できるし遊べたり研修できたりする場もあれば尚良いと思う。新得町といえばここ！って所が出来たら良いなと思います。
車の免許ないのでわかりません
車輛と道の駅の交通の分離(一方通行、歩行者天国化した場所)
ご当地キャラクターをつくる。グッズを作る(ステッカー他)。道の駅の名前もユニークな物に。蕎麦を前面にアピール、蕎麦打ち体験他。家族づれが遊べる様なスペースもあればちょっとドライブにとかでも来そう。夏は直売所、野菜他。
もしつくられるとしたらこじんまりと小さめが良いかと思います。
道の駅より、日曜・祝日に商店街が休業しているのはいかがなものか？・道の駅よりアンテナショップ(規模が小さく)を考えた方が。イートインスペースもあればなおさら良いのでは？
道の駅内に、飲食店や特産品を売る売店。キッズスペースがある充実した施設がほしい。十勝には雨の日に遊べる施設がないので、屋内で充実してる道の駅があるとみんな来てくれると思います。
道の駅が近隣にあればとも思うが新得に必要なかどうか。それだけの目玉となるものがあるか疑問。既にある施設が各々の機能を果たしていると思うので、わざわざ作る事はない気がする。それらを1カ所に集めたら(商品等)そのオリジナル施設に出向く事がなくなり、逆に町内を回ってもらふ機会を失ってしまうと思う。
①自由度を求めれば、再開発という意味で佐幌地区。併せて新得と屈足の市街地も関連して、集客と雰囲気活性化につながるのではないかと ②他町のスタイルにないような型との合体にしては？例:パッティングセンターと併設(硬式球も検討)、パットゴルフ又はパターゴルフ(冬期間も可)、ミニ図書館、プラネタリウム館 ③上記が実現すれば、短期間の通過ではなくキャンプ場などによっては数日間の滞在型も可能では？
PRのために道の駅オリジナルのゆるキャラを作ってみたり。毎週1回イベントを開催(季節にちなんだイベントや屋台みたいな) (ゴールデンウィークなど長期休みの時は日替わりでイベント)。ここだけ限定の物産品を販売。牛のグッズを販売してほしいです。
日高、富良野方面からの集客を考慮して下さい。
どうしても道の駅をつくるとすれば、次の点を重点しなければならない。1、50%以上の町民の利用率。2、強力な集客力のある産業者との併設。
管理の問題が心配
新得にしかないブランドをつくる
団体旅行などに行ったときは必ず道の駅に寄ってくれます。その土地の名産などめずらしいものが置いてあるので大変興味があります。
新得町をPRするには道の駅はあってもいいが、どこに作るかでもめるならいいです。
大樹のように公園、キャンプ場等があると子どもも遊べて飲食店もあって良いと思う。距離もさほど遠くなく、お出かけ気分が味わえる。
冬の駅前ライトアップのように、時期にあったライトアップがあると楽しいと思います。
スタンプラリーやソフトクリーム効果で必ず人がたくさん来ます！ぜひ実現してほしいです！キャンプ場の近辺に温泉がある地域は毎年大勢の人が来ます。
具体的なアイデアは思い浮かびませんが、成功している道の駅がなぜ成功したかを正しく理解し、そこを生かした道の駅を作っていく。どこにも負けないソフトクリーム(高価でおいしいのはあたりまえ、そうではない、一般的な価格でおいしいのが大事)これ大事だと思います。おいしいものを求めてお客さんは集まります。
特に必要は感じない。
まずはインターチェンジを完備。交通網の完備は不可欠。途中どこかの企業体に任せるのではなく、行政が最後まで責任を持って完成まで取り進める。
レストランやコーヒー店。交流スペース。特産品などを販売する売店。子ども広場。交流レストランなど飲食店。

表 7 道の駅に関する自由意見（その3）

自由意見
出来れば現在ある古民家を利用できればと思います。地場産品である共働学舎で古くから作られているトモロコシ人形、カマンベールチーズ等古くから親しまれている。新得漬物本舗での特産の漬物が数多くある。新得には大小2社のそば製造工場がある。その上そば愛好会、サークルがたくさんある。また、そのサークル等に協力をいただき週替わりまたは月替わりで提供していただく等。隣には町の歴史を語る博物館があつて町の歴史が知ってもらえる。
道の駅のみでなく、気楽に集まれるスペースを確保し、編み物や手芸等で作ったもの等も販売できるようにしては。
新得を含め、十勝は一流の食材が揃っているのですからそれを使い食事ができたら良いと思います。（ただし、サービスマンも一流でないといふとリピーターにならないと思います。）道の駅のテーマパーク化（eスポーツの大会を開催したり、鉄道をテーマにしたりするなど。）
駅に隣接していれば列車の待ち時間に利用する方が増え、特産物などのアピールをもっと出来ると思います。「駅でくつろぐ」という事が出来ればもっと賑やかになるのではないのでしょうか。
新得レンジャーのグッズを作成し、道の駅で販売できればPRにもなるかと思います。
特色のある道の駅を整備することで地域の活性化に繋がると思うが、運営主体や商品確保、売り上げ等々課題も多い。設置に当たってはこれらの課題をクリアする必要があることから関係機関、団体の協力を得た上で進めるべきと考えます。
そば屋台などそばは食べられるように。常にキレイなトイレ。常に新しい情報を発信し続ける。わざわざ行きたいと思えるような運営や魅力発信が可能かどうかで成功するかどうかがかかっている。最終的に重荷にならない様にしなければならない。
現状、新得は車での交通の「通過点」になってしまっています。農場に来場されるお客様の多くは「わざわざここまで来た」と言います。道の駅が必要かの議論よりわざわざでも来たいようなまちづくり、わざわざきたお客様が一箇所の訪問で終わらず、一日中新得町内で過ごせるようなまちづくりを進めていく中で道の駅の在り方を考えるべきではないのでしょうか。
大きな建物で、いろいろな特産物や加工品をたくさん売る店にしたら良いと思います。土幌のような。
ソフトクリーム等簡単に飲食できると結構。
新得には独自ブランドと言っても良いものが沢山あります。（新得そば、地鶏、羊肉、チーズ、牛乳）その特産品をその場で食べられるような所だといふと思う。（調理してないものならどこにでも売っているので販売しても意味がないと思う。どこでも買えるから売れない）食べられる場所があればその場で食べて美味しいと感じれば調理してないものをお土産に買って行く。私が道の駅に行く目的は食べ物目当てが大半なので、新得もぜひ、胃袋をつかんで欲しい。
個人的には土幌町、深川市の道の駅が大好きです。参考になるものが沢山あると思います。木古内町は行ったことはないですが、全道一になる理由があると思います。
町の目玉となるような特徴を持った施設を作ってください。
もし設置するなら、テーマのはっきりとした空間にし、来るだけで楽しくなるような場所を作るべき。ワクワク感が町の印象と購買意欲を上げる。
夏期はともかく、冬期に集客するにはどうするのか？狩勝線の跡やトンネルを整備して、SLを走らせるとか、（整備費用はクラウドファンディングを利用する）トンネルを直してワインセラーとして貸し出すとか利用できるものはあると思う。鉄道を活用して上手くいっている例は全国にも多いし、自分で動かせたりしたら尚良し。トンネルをワインセラーとしている成功例も本州にあります。とても人気で、一区画数万円/年の貸し出しで何年も待ってようやく借りれるそうです。
月並みですが特産品など（たとえばそば）の特設スペースなんかがあると購買意欲も上がる可能性があるし新得のことを覚えてってもらえる一助になるかもしれないと思いました
ドライブスルーで買い物→広い駐車場と公園と休憩場
色々の人が、色々の目的をもって集まるスペース、そして交流できる場となる所があればいいと思います。
・小中学生作品展示、・写真募集無料展示・販売、・福祉的作品の小売（木工品）、・イベント写真の展示、・野菜の小売、・休憩場（トイレ等）（峠通りなので）、・唯一JR駅の町なので冬期はイルミネーションで飾る（ソーラーシステム利用で省エネ）、・新得4大肉の焼肉店

3 道の駅整備基本方針の設定

3-1 新得町の現状と課題

新得町は、酪農や畑作を中心とした農業を基幹産業に、寒暖差の激しい気候を生かした「そば」の産地として有名である。

新得町市街地の北に位置するサホロ地区を中心に、スキー、ゴルフ、乗馬、カヌー、宿泊施設などが揃う道内でも有数のリゾート地であり、道外からの観光客や外国人観光客が訪れている。

新得町は新千歳空港からＪＲで1時間45分の距離にあり、道央からの十勝の玄関口となっている。また、北海道の代表的な８つのガーデンを結ぶ北海道ガーデン街道のルート内に位置付けられており、富良野エリアと十勝エリアの中間地点に位置している。

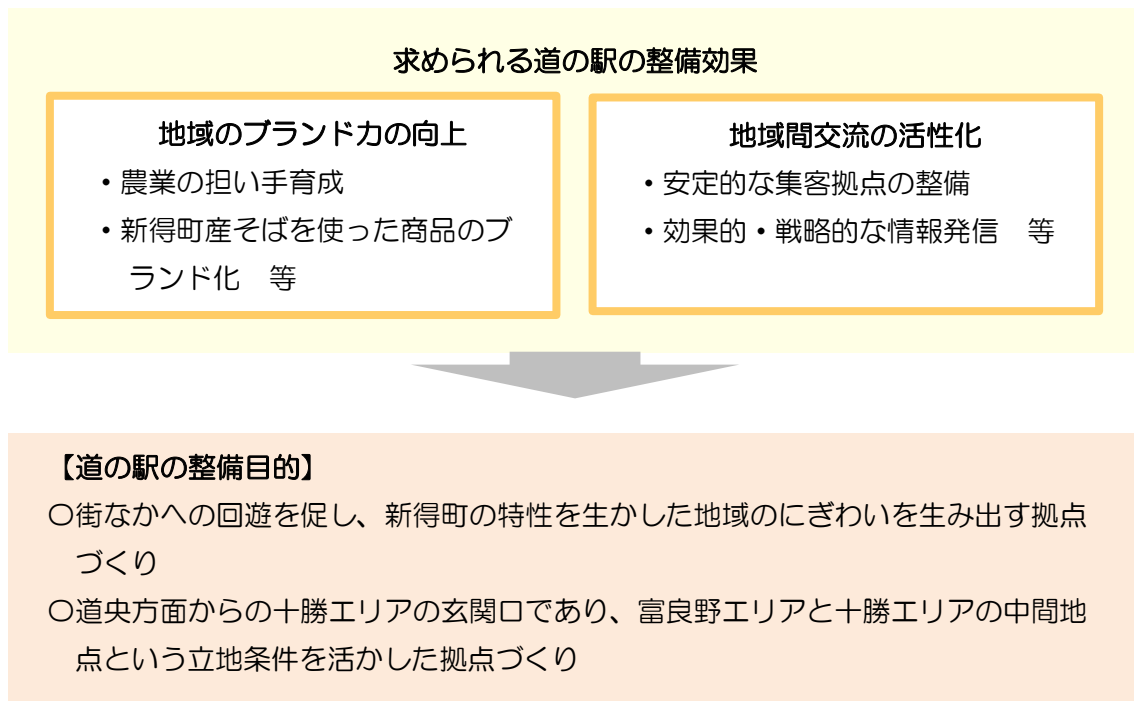
このような、豊富な資源を有し、観光需要が高まる一方、以下のような課題を抱えている。

【新得町が抱える課題】

- 人口減少と少子高齢化が進み、若年層の雇用の場を創出する必要がある。
- 農業においては、そばやチーズ、地鶏を活かした**地域のブランド力の向上が課題**。
- 町内には豊富な観光資源があるにも関わらず町内に訪れる観光客の半数がスキー客を中心とした冬季の観光リゾート客であり、夏季の通過客をいかに新得町に立ち止まらせ、**四季を通じた安定的な観光客を誘致することが課題**。
- 道央と道東を結ぶ交通の要衝であるものの、町内にインターチェンジがないこと、自動車利用者が滞留し休憩うる場所がないことから、**通過するだけの状態**。

3-2 道の駅の整備目的

現状と課題を踏まえ、農業をはじめとした地域産業の活性化や地域のブランド力の向上、町を訪れる観光客の観光交流拠点、自動車利用者の立ち寄り拠点の創出等、地域間交流の活性化を図り地域活力の向上を図るため、「街なかへの回遊を促し、新得町の特性を生かした地域のにぎわいを生み出す拠点づくり」「道央方面からの十勝エリアの玄関口であり、富良野エリアと十勝エリアの中間地点という立地条件を活かした拠点づくり」を道の駅の整備目的とする。



3-3 道の駅の整備方針の設定

新得町の現状と課題及び道の駅の整備目的、さらに第8期総合計画のメインテーマを踏まえ、整備コンセプト及び整備方針を以下のように設定した。

【整備コンセプト】

にぎわいと笑顔が広がる 新得の魅力を発信・体感する空間づくり
～十勝エリアのゲートウェイ拠点をめざして～

【整備方針】

整備方針1：新得町の「味」を満喫できる拠点づくり

- ・新得町の特産品（そば、チーズ、地鶏）や十勝エリアの食材を活用した、飲食・物販施設等の導入。
- ・新得町内の飲食施設やイベント情報等の観光情報を主とし、十勝エリアの観光情報も発信。

整備方針2：十勝エリアの玄関口としての拠点づくり

- ・高速道路利用者をターゲットに、新得町を含む十勝エリアの広域観光情報を発信。
- ・眺望に恵まれた広大な敷地を活用し、自然を体感できる休憩機能や宿泊機能を創出。

整備方針3：多様な客層に対応した、安全・安心に利用できる拠点づくり

- ・高齢者や子育て世代も安心して活用できる施設機能の導入。（例：妊婦向け屋根付き優先駐車場、授乳室の整備等）
- ・災害時の防災拠点となるハード、ソフト対策の実施。

【参考】検討委員会における議論～道の駅の基本方針と具体的な機能について

第2回「道の駅」整備検討委員会において、「道の駅の基本方針と具体的な機能」について議論した結果を参考として以下に示す。

方針		具体化するための機能
町内の人々が率先して使える施設。町内お昼ご飯食べられるところが少ない。	→	・子どもが遊べる、町内の人々が気軽に飲食できる。町内産のものを使ってメニュー。新得Sランチ・提供の場拡大。
長続きするもの、商売として儲かるものを造る。	→	・町外の人々が運営する店もあっていい。
仮設的エリアを造る。あまりお金をかけない。	→	・中札内のイメージ。農産物、アイス等。帯広屋台村。 ・キッチンカーを乗り付ける仮設のスペース。十勝管内のキッチンカーを活用
プレイヤーを作らなければいけない、ハコモノだけではダメ	→	・外国人にも活躍の場を。東南アジア。タイ。日本人の気質に近い。
移住者が道の駅に来れば、うまくいくというようなイメージが持てるような。	→	・情報交換・交流の場。
候補地の自然環境に合わせた演出。	→	・動物。牛がいるとか公園をつくるとか。動物と触れ合える道の駅 ・ペットが遊べる場所。ドッグラン等。
S I C付近なら	→	・新得の看板のあたりに動物（牛・鹿・馬・羊）がいれば立ち寄る。ナイタイ牧場的なイメージ。剥製は要らない ・キャンピングカー、テント。景観にあう新得らしいものが見れる。寄ってもらって新得を知ってもらおう。 ・S L、トムラウシ温泉の足湯。冬にも寄りたくなるような。撮り鉄対応。 ・温泉があるといい。見晴らしのいいところに露天風呂なんかあるといいな。近くに牧場。
外国人サイクリスト。安全にテントを張れる場所があるといい。	→	・テントサイト。テントを張れるような芝生広場とか。

4 道の駅導入機能の検討

4-1 導入機能の設定

3-3で示した整備方針（案）を基に、道の駅導入機能を整理した。整理した道の駅導入機能を以下に示す。

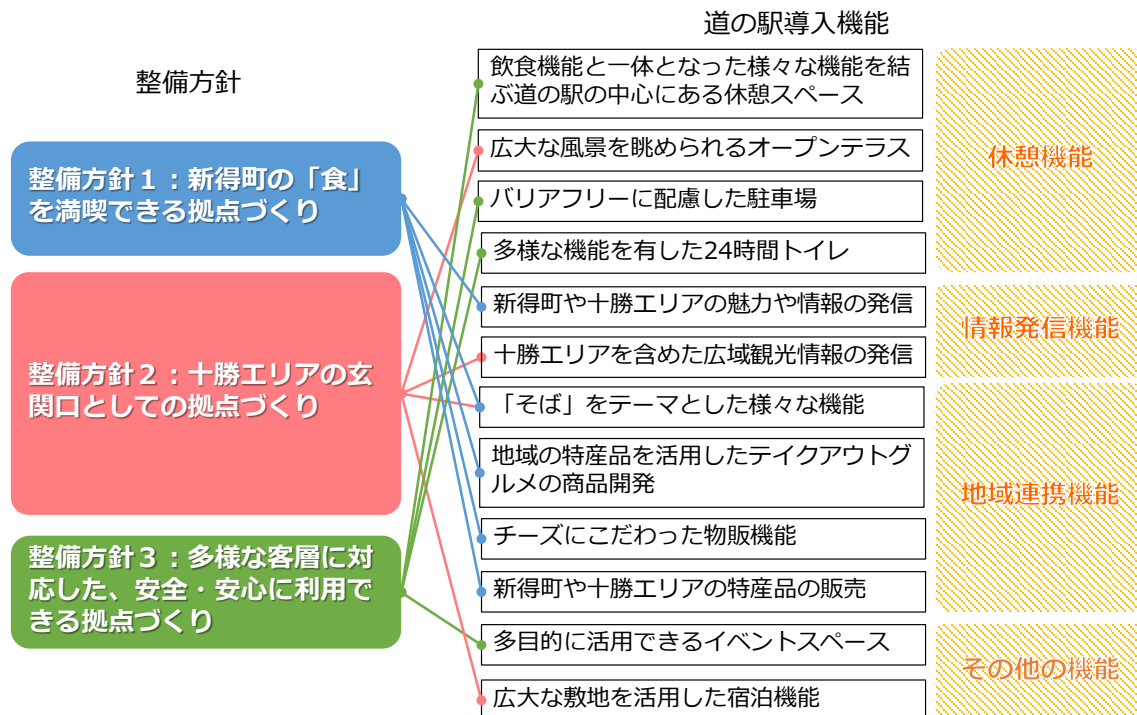


図 22 道の駅導入機能

4-2 導入機能のイメージ

(1) 休憩機能

① 飲食機能と一体となった様々な機能を結ぶ道の駅を中心にある休憩スペース

屋内では、テイクアウトコーナーに隣接して無料休憩所を設置するといった、利用しやすい配置とする。子育て応援施設として、キッズスペースについても検討する。

【整備イメージ】

○テイクアウトコーナーに隣接した無料休憩所の整備



道の駅かみしほろ



北欧の風 道の駅とうべつ

○休憩スペースに近接したキッズスペース



道の駅かみしほろ



道の駅ピア21 しほろ

② 自然を体感できる眺望空間づくり

屋外では、道の駅候補地の立地状況を活用し、自然の風景を眺めて飲食・休憩できる空間とする。

【整備イメージ】

〇十勝らしい広大な自然の風景を眺められるオープンテラスの整備

- ・十勝エリアを見渡すことができる眺望に恵まれた土地の特徴を活かす。
- ・活用できる敷地が広いことから、牧草ロールの設置やそば畑の整備により、北海道または新得町らしい景観を作り出すこともできる。



牧草ロール



新得町そば畑

③ バリアフリーに配慮した駐車場

適切な規模を想定し、来場者が駐車できない状況に陥らないよう計画する。

様々な道路利用者が気軽に立ち寄れるよう、車椅子、マタニティマーク、EV充電駐車場を整備する。また、上記の駐車スペースに、屋根を整備するよう計画する。

【整備イメージ】

屋根付きの駐車場



道の駅ピア21しほろ

車椅子・EV充電等の駐車場



道の駅かみしほろ

④ 多様な機能を有した24時間トイレ

明るく、清潔で、使いやすく、安心して利用できる利用者に配慮したトイレを整備する。
周辺道路の利用者や施設利用者の規模に応じた便器数を整備する。
子育て世代も使いやすいよう、授乳室を整備する。

【整備イメージ】

授乳室



道の駅ピア21しほろ

授乳空間（授乳室は別途整備）



道の駅サーモンパーク

(2) 情報発信機能

① 新得町や十勝エリアの魅力や情報の発信

道の駅を訪れた人に新得町及び十勝エリアの観光・イベント情報を提供するためのスペースを整備し、分かりやすく情報を発信する。

【整備イメージ】

○新得町及び十勝エリアの観光・イベント情報の提供スペース

- ・十勝エリアの玄関口となる特徴を活かし、十勝全体の広域観光情報を重点的に発信。

タブレットとパンフレットのある情報コーナー



道の駅なないろななえ

○新得町内の飲食店や地域の見どころに関する情報発信

地域の見どころを記載した絵葉書



道の駅しかおい

地域の見どころを記載したパネル



道の駅なないろななえ

(3) 地域連携機能

① 「そば」をテーマとした様々な機能

新得町の特産品である「新得そば」を体感できるコーナーを整備する。

【整備イメージ】

○新得そばを学び・味わえる「そばミュージアム」

- ・新得町及び北海道のそばの歴史を学べるスペースと新得町内で販売しているそばの食べ比べをできるスペースが一体となった施設を整備。

そばの歴史展示イメージ



道の駅あいろーど厚田

○玄そば挽きたてコーナーの整備

- ・玄そば（収穫後、殻を取っていないそばの実）や抜き実（殻をとったそばの実）から、自分でそば粉を挽けるコーナーを整備。
- ・挽きたてのそば粉を販売するスペースも整備。

② 地域の特産品を活用したテイクアウトグルメの商品開発

新得町内で生産される「そば」、「チーズ」、「地鶏」を活用した、テイクアウトグルメの商品開発を行い、販売する。

【整備イメージ】

○新得そば粉を活用したテイクアウトグルメ

- ・新得そば粉と十勝小豆を使用した、「そばがきぜんざい」を商品開発し、販売。
- ・新得そば粉を活用したガレット等、町内にはなく、道内でも珍しい商品を扱う。



○新得町産のチーズや地鶏を活用したテイクアウトグルメ

- ・新得町産のチーズや地鶏を活用したピザやパンツェロッティ (揚げピザ) を商品開発し、販売。



③ チーズにこだわった飲食・物販機能

新得町内で製造しているチーズ(共働学舎新得農場、(株)広内エゾリスの谷チーズ社)と十勝エリアのチーズを活用したチーズ専門店を整備する。

【整備イメージ】

○地元の食材を活用したチーズ専門店

- ・新得町内で製造しているチーズ(共働学舎新得農場、(株)広内エゾリスの谷チーズ社)と十勝エリアのチーズを活用した、チーズ専門店を整備。
- ・チーズ専門店では、チーズの販売の他、新得町産のチーズと地鶏、十勝エリア産の小麦やチーズを活用したピザ、十勝エリアのワイン等が食べられる飲食機能も設ける。



チーズ販売のイメージ

④ 新得町や十勝エリアの特産品の販売

地元農産物の消費拡大や産地育成・振興の拠点となるよう、新得町の特産品や加工品を販売する施設を整備する。

十勝スイーツや十勝ワイン等の十勝エリアの特産品についても販売できる空間を確保・整備する。

【整備イメージ】

○新得町産の特産品や加工品、十勝エリアの特産品の販売

- ・新得町の特産品と十勝エリアの特産品を販売。各エリアの特産品は、混在せず、コーナー毎に配置。



道の駅ピア21しほろ

(4) その他

① 多目的に活用できるイベントスペース

夏季の農産物直売所やイベントだけではなく、防災拠点としても利用できるような広場屋外を整備。

② 広大な敷地を活用した宿泊機能

広大な敷地を活かし、大自然を一望できる個別の宿泊施設の誘致やオートキャンプ場の整備を行う。

4-3 基本的な規模の検討

道の駅の配置計画検討の指標とすることを目的に、基本的な規模の検討として、駐車場規模の検討を行った。

(1) 駐車場の必要台数及び規模の検討

道の駅の年間入込目標を40万人と設定し、駐車場規模の検討を行った。駐車場規模は、観光客の利用状況によって規模の変動が考えられることから、平均的な必要駐車場台数と観光客ピーク時に必要な駐車場台数の2ケースについて検討を行った。

① 平均的な必要駐車場台数

平均的な必要駐車場台数の検討結果を以下に示す。

①立寄台数の算出

条件1 休日の立寄台数は、平日の2倍と設定。
条件2 平均乗車人員は、平日1.5人/台、休日2.5人/台と設定。
条件3 1年間の平日と休日の日数は、平日240日、休日125日と設定。

上記の条件から、平日・休日の道の駅の立寄台数を算出。

平日の立寄台数	406	台/日
休日の立寄台数	812	台/日(平日×2)

②駐車場規模の算出

条件6 道の駅の滞在時間を 45 分と設定。
条件7 大型車混入率は 16.3% を採用(H27センサス道東道の値)
条件8 駐車場ピーク率を 1.5 と設定(営業時間12時間と設定)

駐車場台数			
必要駐車場台数	76	台	概算必要面積
うち普通自動車	64	台	50 m ² /台
うち大型自動車	12	台	200 m ² /台
駐車場面積(概算)			
普通自動車	3,200	m ²	
大型自動車	2,400	m ²	
合計	5,600	m ²	

※駐車場台数の算出式

・必要駐車場台数＝立寄台数（休日）/12時間×ピーク率1.5×道の駅滞在時間

② 観光客ピーク時に必要な駐車場台数

観光客ピーク時に必要な駐車場台数の検討結果を以下に示す。

①立寄台数の算出

条件1～2: 同左

条件4 十勝エリアの月別入込割合からピーク8月(18.1%)の入込数を算出

条件5 8月の平日と休日の日数は、平日18日、休日13日と設定。

上記の条件から、平日・休日の道の駅の立寄台数を算出。

平日の立寄台数 789 台/日

休日の立寄台数 1,578 台/日(平日×2)



②駐車場規模の算出

条件6 道の駅の滞在時間を 45 分と設定。

条件7 大型車混入率は 16.3% を採用(H27センサス道東道の値)

条件8 駐車場ピーク率を 1.5 と設定(営業時間12時間と設定)

駐車場台数

必要駐車場台数	148 台	概算必要面積
うち普通自動車	124 台	50 m ² /台
うち大型自動車	24 台	200 m ² /台

駐車場面積(概算)

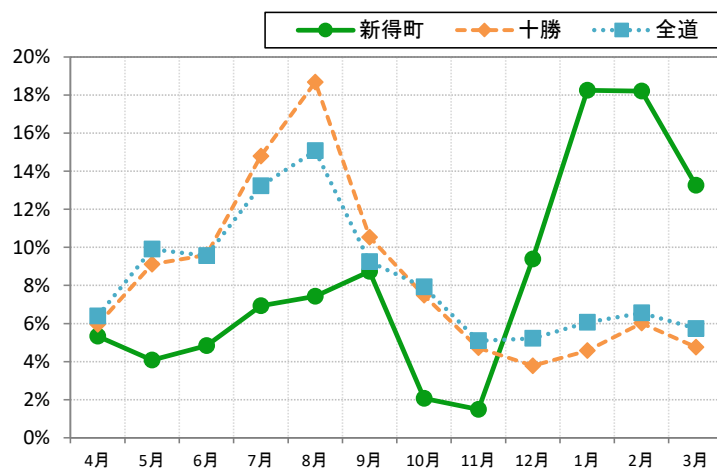
普通自動車	6,200 m ²
大型自動車	4,800 m ²
合計	11,000 m ²

※駐車場台数の算出式

・必要駐車場台数＝立寄台数（休日）/12時間×ピーク率1.5×道の駅滞在時間

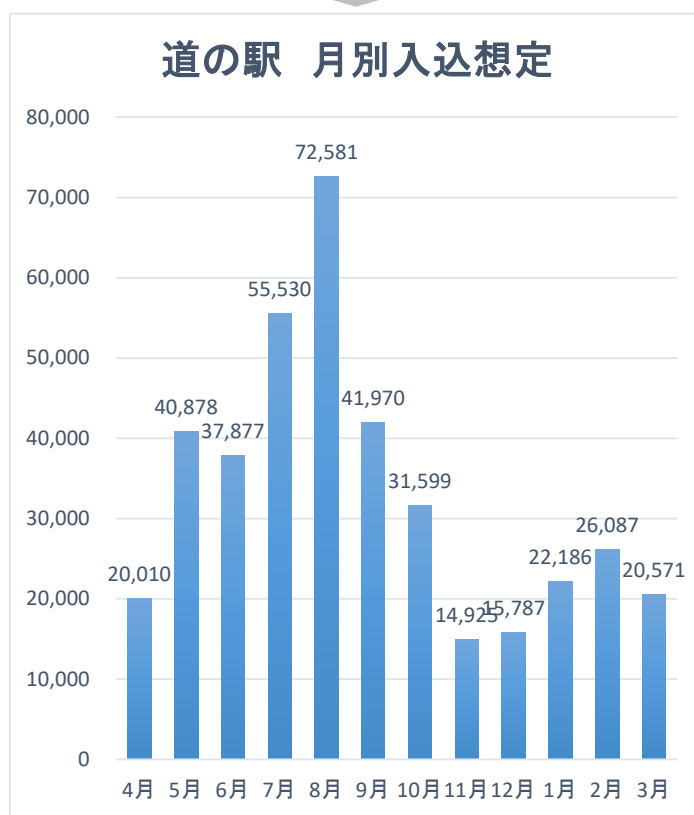
※参考資料：年間40万人を目標としたときの月別観光入込客数の想定

年間40万人を目標としたときの月別観光入込客数を想定するために、月別の観光入込客数の割合に応じて入込があると仮定し、繁忙月の観光入込客数（想定値）を算出した。観光入込客数（想定値）の算出にあたり、新得町はサホロリゾートがあるため冬期が繁忙月となる特殊なケースとなることから、十勝エリアの月別観光入込割合の統計データより算出した。



新得町の観光入込客数の月別比率【2018年度】

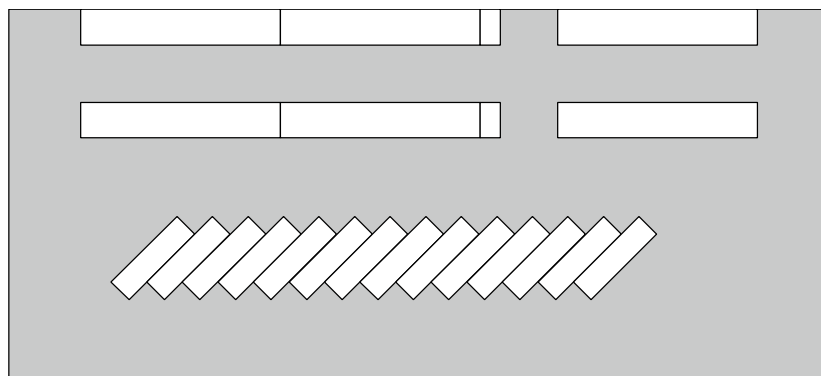
（出典：北海道観光入込客数調査報告書）



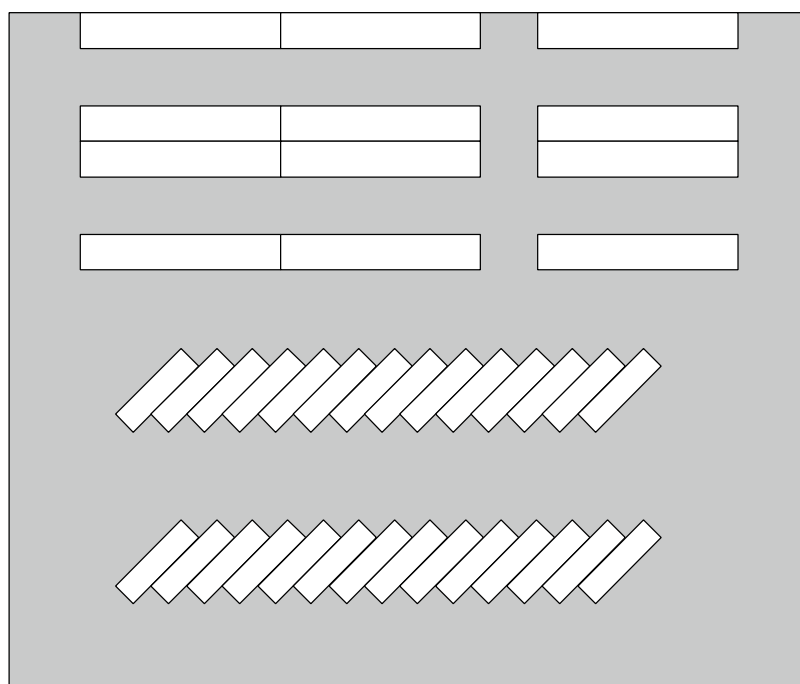
月別観光入込客数（想定値）の算出

(2) 駐車場の配置イメージの検討

前述の駐車場の必要台数の検討結果（2 ケース）を踏まえ、各ケースの配置イメージを検討した。検討結果を以下に示す。



平均的な必要な駐車場台数（ $115\text{m} \times 52\text{m} = 5,980\text{m}^2$ ）



観光客ピーク時に必要な駐車場台数（ $112\text{m} \times 95\text{m} = 10,640\text{m}^2$ ）

図 23 駐車場の配置イメージ

(3) 導入機能の規模の設定

道の駅施設の各機能は、年間観光入込客数を40万人と想定した場合で算出した。なお、下記以外の機能を加える場合、施設全体の面積も増加する。

道の駅施設の規模は、共有通路等も含めて全体で1,000㎡程度と想定。

表 8 道の駅の各導入機能の規模（その1）

道の駅導入機能		施設規模の設定
休憩機能	飲食機能と一体となった様々な機能を結ぶ道の駅を中心にある休憩スペース	利用者が無料で休憩できるよう、テーブルやイスを設置し、テイクアウト品を飲食できる場所とする。40人ぐらいが滞在できるスペースとして、 <u>面積を110㎡</u> と設定する。 親が無料休憩所で飲食している間等の短時間、子どもが絵本を読んだり積木等で遊べるような場所とする。 <u>面積を10㎡</u> と設定する。
	多様な機能を有した24時間トイレ	24時間トイレについては、「東日本高速道路(株) 設計要領」に示されている建築施設の規模算定より、 <u>面積を135㎡</u> と設定する。隣接する授乳スペースは、 <u>面積を10㎡</u> と設定する。
情報発信機能	新得町や十勝エリアの魅力や情報の発信	情報コーナーは、道路情報と地域情報の2つに分類される。 道路情報コーナーは、新得を中心とした広域の道路網マップの掲示及び交通止めを始めとする道路関連情報の提供を行う場所で、気象、積雪、降雪路面状況等をリアルタイムに発信するパネル展示などを行う。 地域情報コーナーは、新得町及び十勝エリアの観光やイベント情報の提供と町内の飲食店や地域の見どころを紹介するパンフレットやパネル展示などを行う。 主にパネル展示やパンフレットの配置などの壁面使用を想定し、情報コーナーの <u>面積を80㎡</u> と設定する。

表 9 道の駅の各導入機能の規模（その2）

道の駅導入機能		施設規模の設定
地域連携機能	「そば」をテーマとした様々な機能	そばミュージアムは、新得町及び北海道のそばの歴史を学べるスペース（パネル展示を想定）と町内で販売しているそばの食べ比べをできるスペースが一体となった施設を想定する。ここではそばを提供するスペースのみ（受付＋調理場）とし、飲食は無料休憩所とする。また、玄そばひきたてコーナーも整備する。 <u>面積を40㎡</u> と設定する。
	地域の特産品を活用したテイクアウトグルメの商品開発	新得町産の特産品を活用したテイクアウトグルメは、1店舗で複数のテイクアウト商品を販売することを想定する。ここでは商品を提供するスペースのみ（受付＋調理場）とし、飲食は無料休憩所とする。 <u>面積を20㎡</u> と設定する。
	チーズにこだわった飲食・物販機能	町内で製造しているチーズを活用したレストラン及びテイクアウトを想定し、レストラン形式の席を設置する。テーブル・カウンター等で30席程度のレストランとして、 <u>面積を120㎡（厨房は50㎡）</u> と設定する。店の入り口には、チーズの販売スペースを設ける。
	新得町や十勝エリアの特産品の販売	新得町の特産品と十勝の特産品等の販売所及び新得町の農産物の直売所を一体として、 <u>面積を80㎡</u> と設定する。
その他	バックヤード	道の駅の事務室、従業員関連の諸室、倉庫、機械室等とする。 <u>面積を80㎡</u> と設定する。
	通路など	通路などは諸室合計の3割程度を見込み、適宜確保する。

5 道の駅整備イメージ図の作成

5-1 施設配置ゾーニングの検討

道の駅施設規模の想定を踏まえ、候補地における施設配置ゾーニング（案）について、町道からのアクセスや敷地の造成等を考慮して検討した。

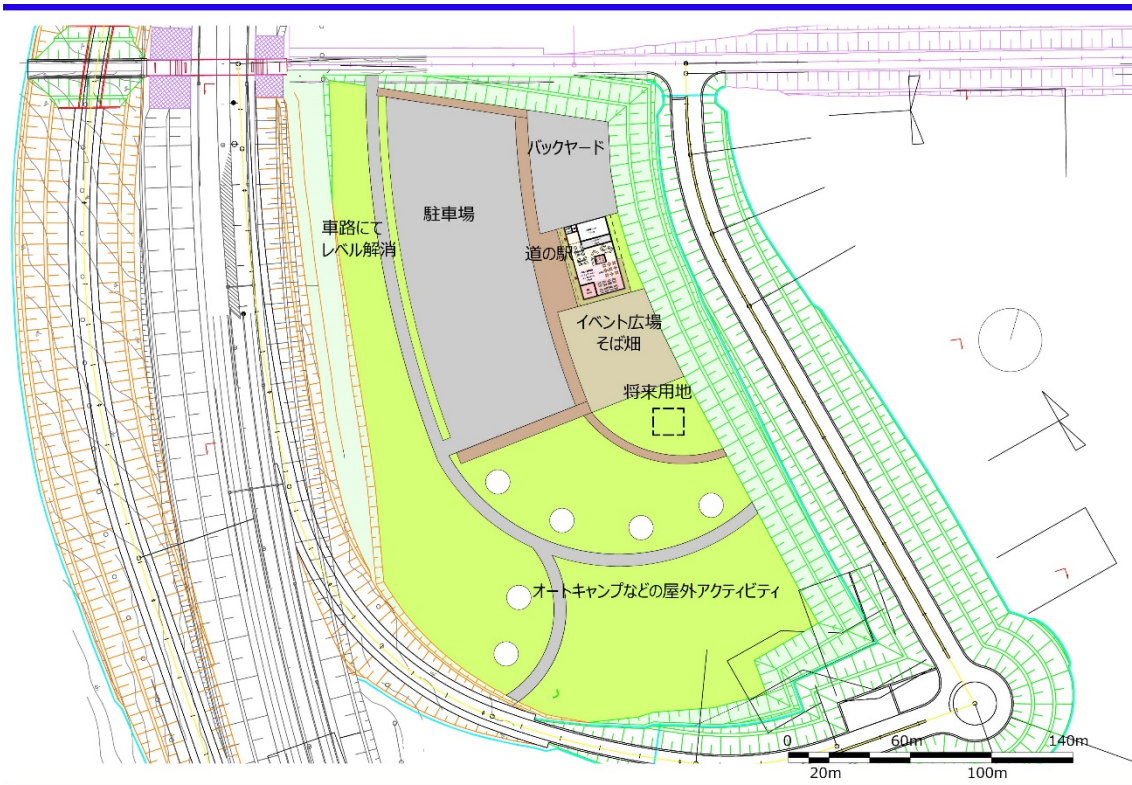


図 24 施設配置ゾーニング

5-2 道の駅機能配置ゾーニング

道の駅施設規模の想定を踏まえ、道の駅の各機能の配置ゾーニング（案）を検討した。

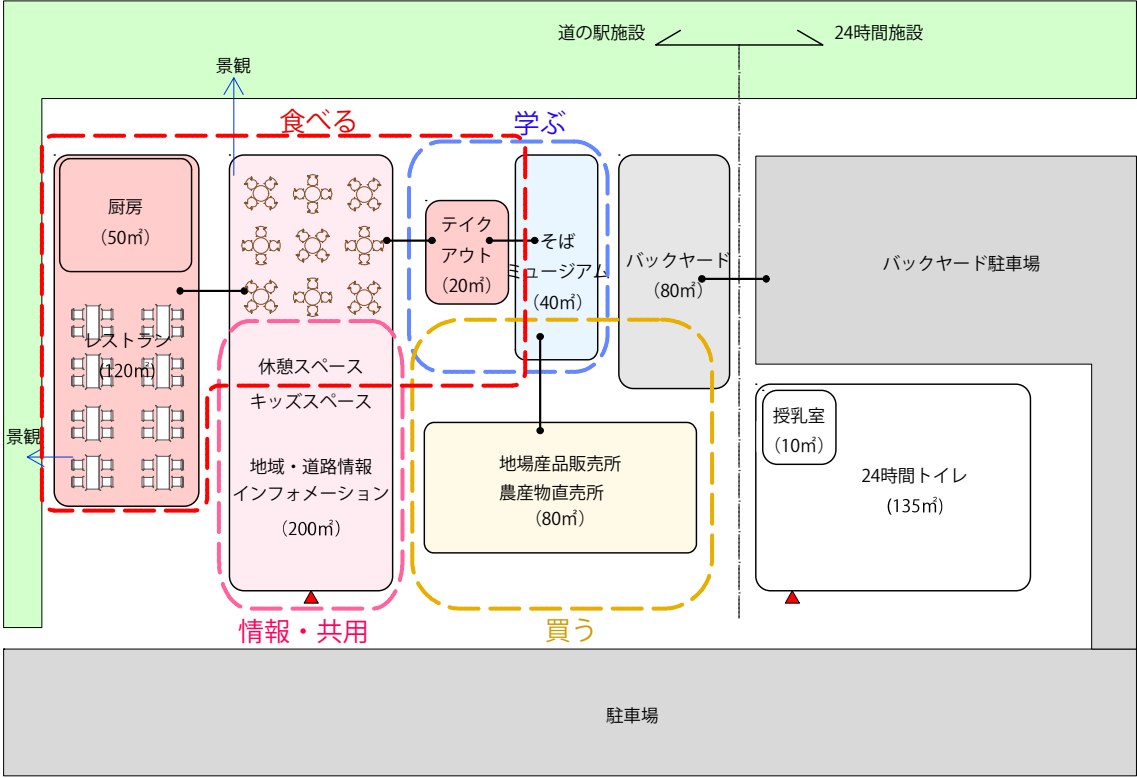


図 25 道の駅機能配置ゾーニング（案）

5-3 施設配置計画（案）

道の駅の施設計画（案）を以下に示す。

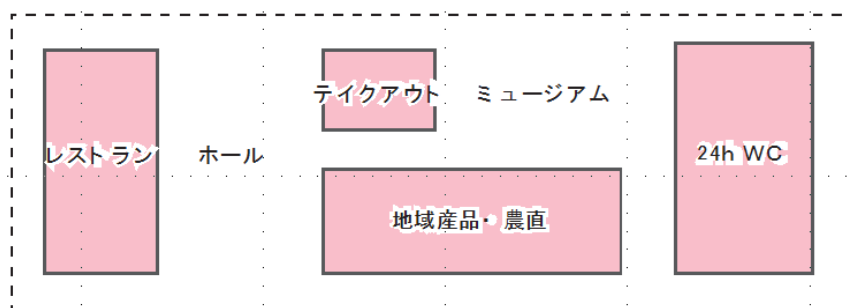
コンセプト

高速道路から新得町にアクセスする際、長く暗いトンネルを抜けた瞬間に広がる新得の草原の風景は、十勝エリアに来たことを感じさせる豊かな景観である。

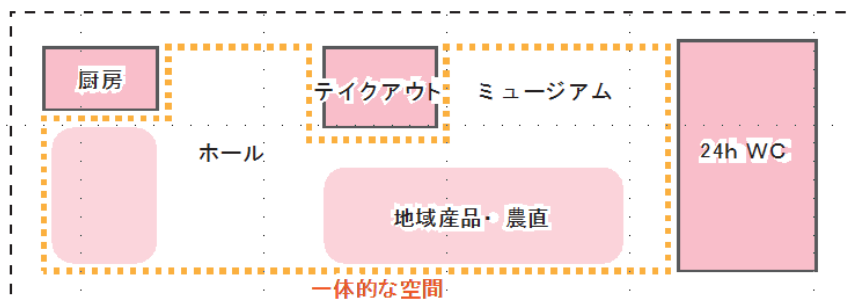
本施設は、豊かな新得の原風景に馴染み、景観を取り込む建築を目指す。

ダイアグラム

1. それぞれの機能を大屋根でまとめ、一体感を形成



2. 機能を壁として区切るのではなく、緩やかにゾーンをつなげる



※今後、眺望の良い方向や駐車場配置などによってプランは変更

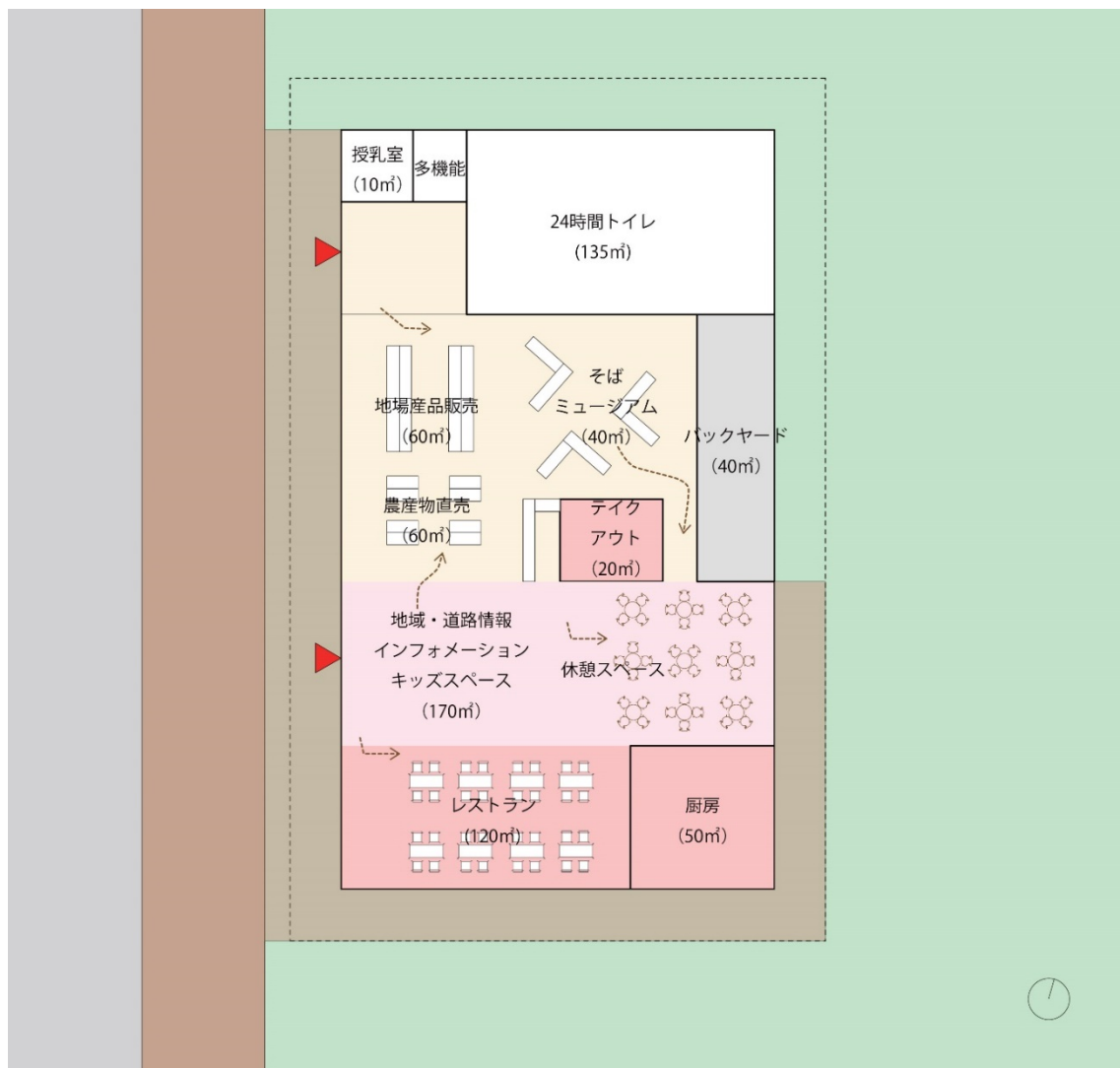
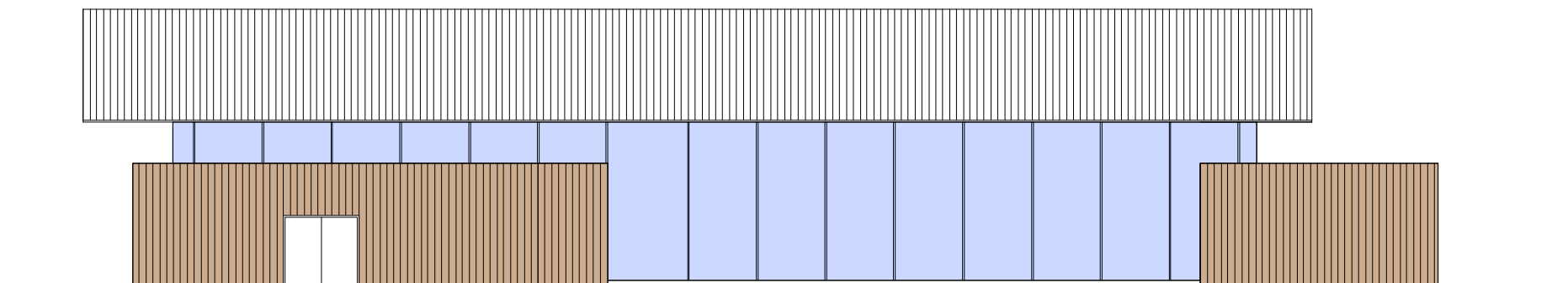
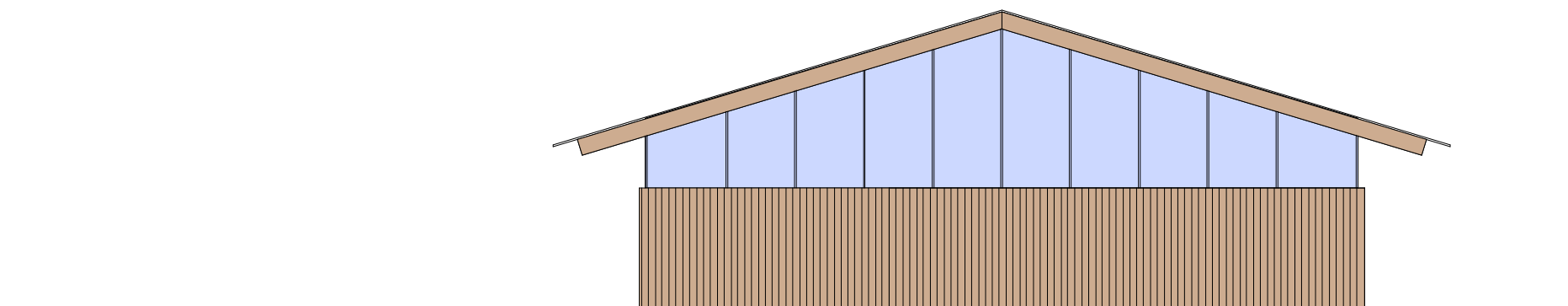


図 26 道の駅施設配置計画（案）



西側立面図



北側立面図



6 今後の課題

【運営主体の検討】

道の駅には、町に人を呼び込み、町内に多くの人を周遊させることで、町の経済活動を活性化させる役割がある。この役割を担うにあたって、道の駅単体の収益のみならず、新得町全体の経済効果を高めることを十分考慮した上で、管理・運営主体の検討を行う必要がある。

【新得S I C整備動向を踏まえた道の駅の検討】

新得S I Cは、整備に向けた検討を進めているが、まだ事業が決定したわけではないことから、新得S I Cの今後の動向を踏まえながら、道の駅の整備内容の検討を深めていく必要がある。

特に敷地の造成や駐車場動線の設定においては、インターへのアクセス道路の勾配にも大きな影響があることから、関係機関も含めた技術的な検討も必要である。

【利用者増に向けた高速道路からの一時退出を可能とする「賢い料金」の実施】

現在国土交通省では、高速道路からの一時退出を可能とする「賢い料金」の社会実験を実施している。

新得S I C付近に整備する道の駅の利用者増加に向けては、この「賢い料金」の実施検討が必要である。

※参考例：札幌南 I C～本別 I C間の普通車料金は5,590円であるが、例えば途中の占冠 I Cでいったん降りて再度高速道路に戻った場合の普通車料金は6,060円となる。

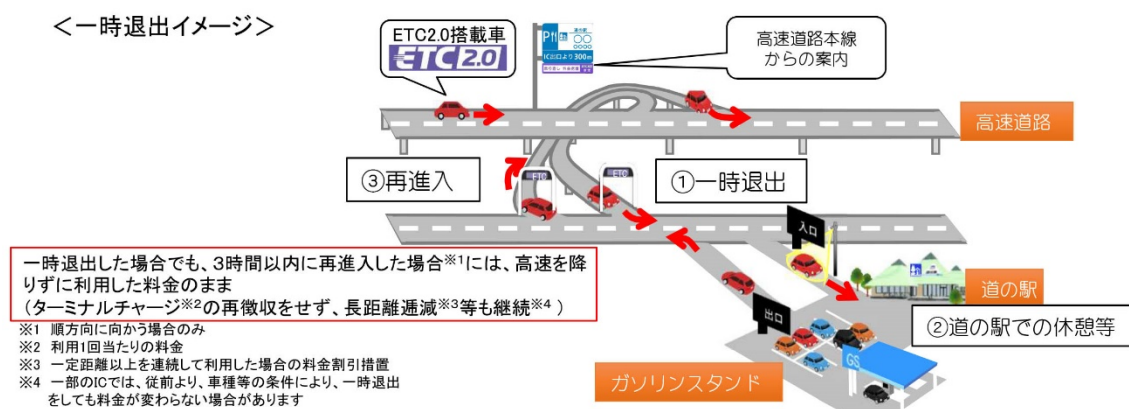


図 27 一時退出のイメージ

（出典：国土交通省）

参考資料

1. 「道の駅」整備検討委員会について 53
2. 道の駅アンケート調査結果（北海道立総合研究機構） 56

1. 「道の駅」整備検討委員会について

(1) 道の駅整備検討委員会設置要領

道の駅整備検討委員会設置要領

令和2年7月8日 新得町決定

(目的)

第1条 道の駅の整備検討にあたり、道の駅整備検討委員会（以下「検討委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 検討委員会は、次に掲げる内容等について協議する。

- (1) 道の駅整備基本構想に関すること。
- (2) 道の駅整備基本計画に関すること。
- (3) 道の駅整備基本設計に関すること。
- (4) 道の駅整備実施設計に関すること。
- (5) 道の駅整備に向けての課題等の整理及び調査検討に関すること。
- (6) 町民合意を形成するための手法等の検討に関すること。
- (7) その他道の駅整備に関して必要と認めたこと。

2 協議にあたって、会長が必要と認めたときは先進地等の調査を行う。

(組織)

第3条 検討委員会は、別表に掲げる所属の者及び無作為抽出による町民アンケートによる登録者の中から若干名をもって構成する。

2 検討委員会には次の役員を置く。

- (1) 会 長 1名
- (2) 副会長 1名

3 前項の役員については、第1項の者の中から互選する。

4 会長は会務を総理し、検討委員会を総括する。

5 副会長は、会長を補佐し、会長が不在の場合は、その職務を代理する。

(会議)

第4条 検討委員会の会議は、必要に応じて会長が招集し、会長が議長となる。

2 会長は、必要に応じて構成員以外の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

(庶務)

第5条 検討委員会の庶務は、地域戦略室において処理する。

(その他)

第6条 この要領に定めるもののほか、検討委員会に関して必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

1 この要領は、令和2年7月8日から施行する。

2 構成員に異動が生じた場合は、別表に掲げる所属による者は、その後任に引き継ぐものとし、町民アンケートによる登録者は登録名簿の中から任命する。

別表

道の駅検討委員会 構成員

	所 属
1	新得町
2	新得警察署
3	商工会
4	新得町農業協同組合
5	観光協会

(2) 道の駅整備検討委員会名簿

(敬称略・順不同)

	氏 名	備 考
1	金 田 将	町
2	金 田 順 司	新得警察署
3	石 川 雅 規	商工会
4	五十嵐 良 和	新得町農協
5	安 田 昌 行	観光協会
6	蔵 谷 啓	
7	平 一 真	
8	阿 部 安 美	
9	北 野 真 弓	
10	丸 橋 浩 子	

2. 道の駅アンケート調査結果について（北海道立総合研究機構）

本内容は、（地独）北海道立総合研究機構が2020年度に「道の駅」を有する自治体ならびに「道の駅」の管理者を対象に実施したアンケート（別紙1、2）の結果をもとに、第5回新得町「道の駅」整備検討委員会（2021年1月20日）の資料として提出したものを加筆・修正したものです。

（1）調査概要

- ・ 回答期間：2020年10月29日（木）～2020年12月18日（金）
- ・ 配布数／回答数／回答率：表1のとおり

表1 アンケート配布数・回答数・回答率

	配布数	回答数	回答率
自治体	127※	65	51.2%
管理者	128	65	50.8%

※旭川市は設置者が自治体ではないため配布していない。

（2）道内の「道の駅」の目的と効果

1993年に制度が開始された「道の駅」は当時の建設省によって、道内に12か所の施設が登録された。その後「道の駅」は増え続け、その数は2021年2月現在、128か所となっている（図1）。「道の駅」の登録要件は24時間トイレの設置等の「休憩機能」、道路情報の発信等の「情報発信機能」、活力ある地域づくりのための「地域連携機能」があるが、道内の「道の駅」の設置目的（図2）は、デジタルサイネージ等を活用した「まちの情報発信（36%）」、地域の野菜・食肉・加工品等の「地元特産品の販売（23%）」、観光客と地元住民あるいは地元住民同士の「交流機会の創出（21%）」、「道の駅」を中心とした「地域活性化（18%）」を主な目的としている「道の駅」が多くみられ、「道の駅」に求められる役割は多岐にわたっている。

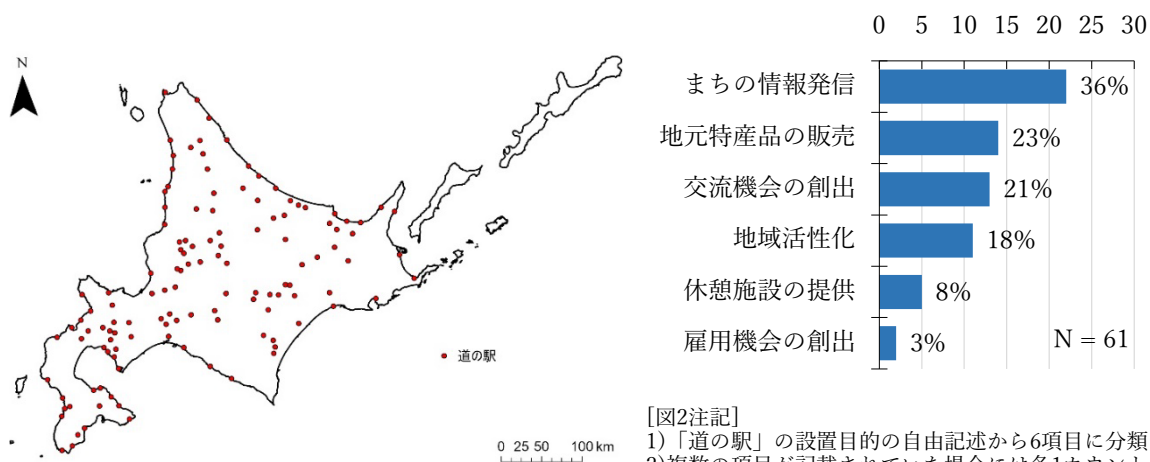


図1 道内の「道の駅」の位置（2021年2月現在）

図2 「道の駅」の設置目的（自治体回答）

「道の駅」の設置効果（図3）については、「道の駅」設置後、周辺施設に効果があったと回答した自治体が約65%であった。効果の具体例としては、周辺の観光施設、温泉／宿泊施設、飲食店等にも来場者が増加した、「道の駅」周辺に飲食店が増加した等の回答があった。また、周辺施設に効果をもたらすための工夫として、

- ・デジタルサイネージ等による情報発信
- ・「道の駅」来場者に周辺施設で利用できるクーポンの配布
- ・自転車貸出しによる周辺施設周遊の促進
- ・観光コンシェルジュの常駐による周辺施設の情報提供
- ・宿泊施設が「道の駅」に隣接する観光施設見学付きプランを販売

などの回答があった。

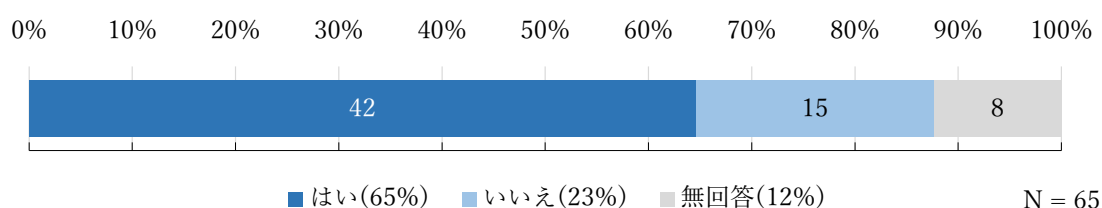
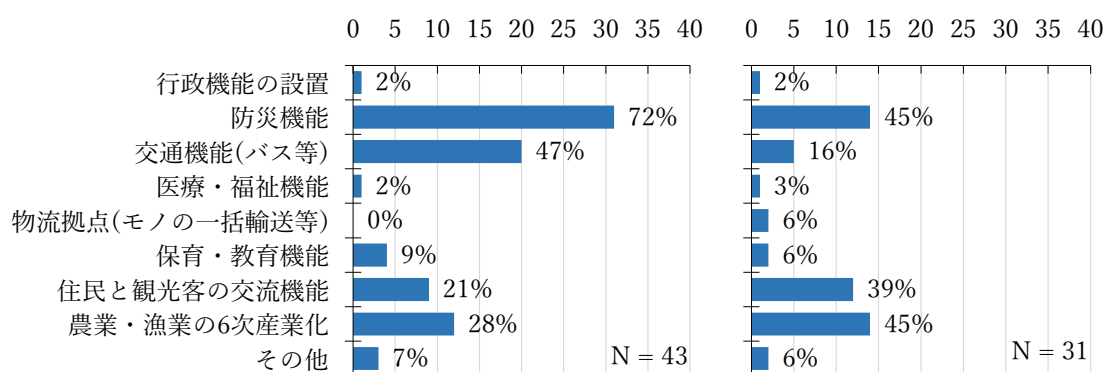


図3 「道の駅」の設置効果の有無（自治体回答）

「道の駅」に既に導入している機能、今後導入したい機能（図4）については、既に導入している機能は一時避難場所を設置する等の「防災機能（72%）」、路線バスの結節点にする等の「交通機能（47%）」、「農業・漁業の6次産業化（28%）」、移住体験等の「住民と観光客の交流機能（21%）」が多くなっている。また、今後導入したい機能は「防災機能（45%）」、「農業・漁業の6次産業化（45%）」、「住民と観光客の交流機能（39%）」が多くなっている。

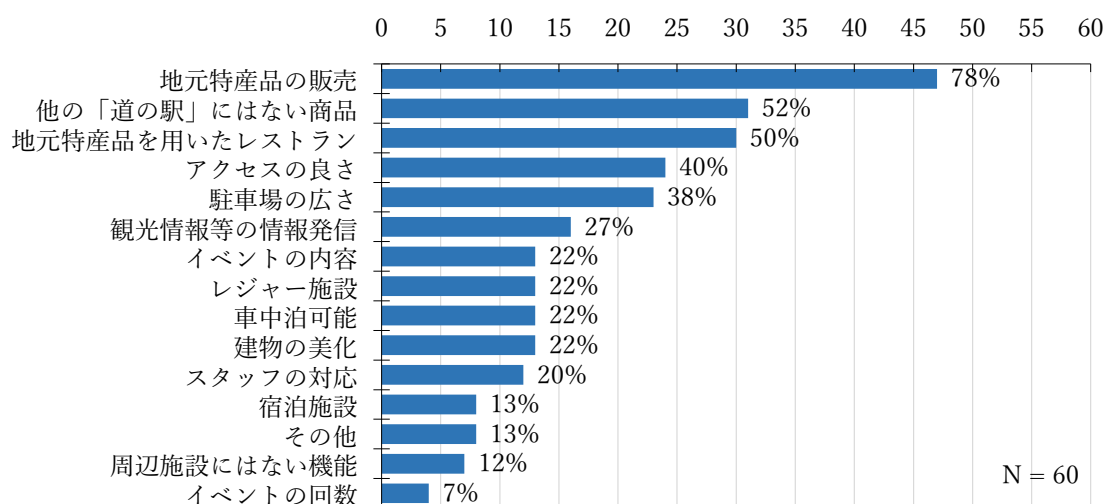


〔図4注記〕 回答は9項目のうち複数選択

(a) 既に導入している機能 (b) 今後導入したい機能

図4 「道の駅」に既に導入している機能、今後導入したい機能

「道の駅」の集客効果を上げていると考えられる項目（図5）については、上位3項目は「地元特産品の販売（78%）」、「他の「道の駅」にはない商品（52%）」、「地元特産品を用いたレストラン（50%）」であり、オリジナル商品等の効果が大きいと考えられる。



〔図5注記〕 回答は15項目のうち5項目選択とし、5項目選択していない回答も含む

図5 集客効果を上げていると考えられる項目（管理者回答）

（3）「道の駅」の建物

最も古く建設されたのは1965年であり、竣工から50年以上経過している「道の駅」もある（図6）。これは、既存施設を「道の駅」に転用している事例であり、26件（40%）の「道の駅」が既存施設活用型（図7）である。

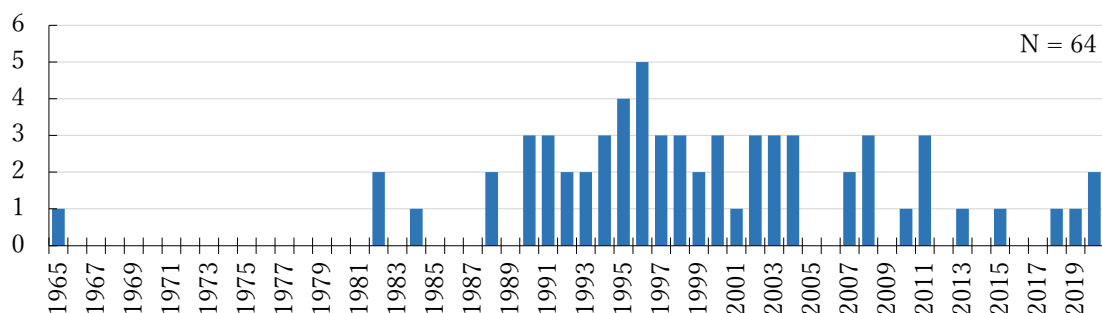


図6 「道の駅」の竣工年数と建物件数

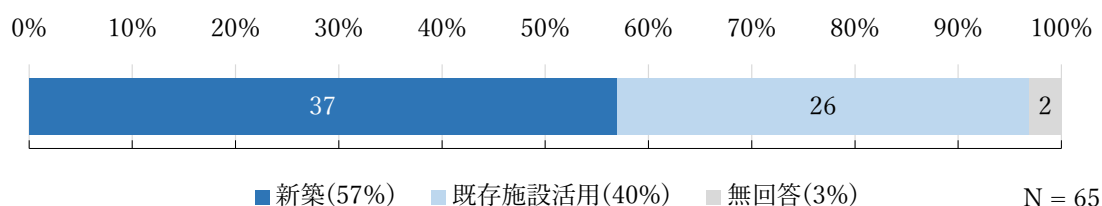


図7 「道の駅」の建物

スタッフ・来場者の動線に関する満足度（図8）については、「やや不満（39%）」が最多であった。

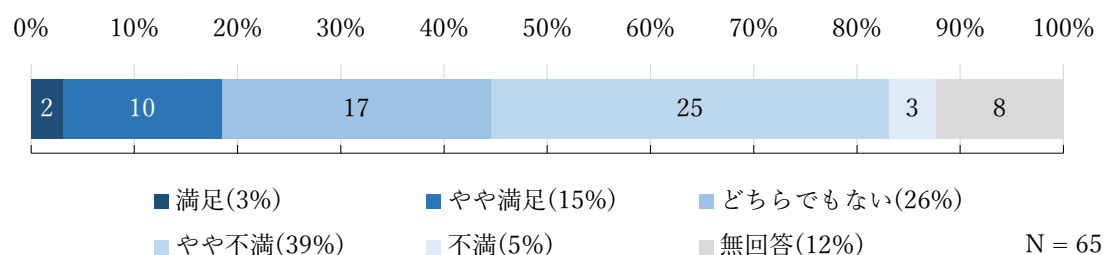


図8 スタッフ・来場者の動線に関する満足度（管理者回答）

「やや不満」の主な理由としては、

- ・レストランの中を「道の駅」来場者が通過する等、ゆっくり食事ができない。
- ・外観や形状を重視した建物で管理側にとっては非常に使いづらい構造となっている。

などの回答があった。

メンテナンスのしやすさに関する満足度（図9）については、「どちらでもない（37%）」が最多であった。

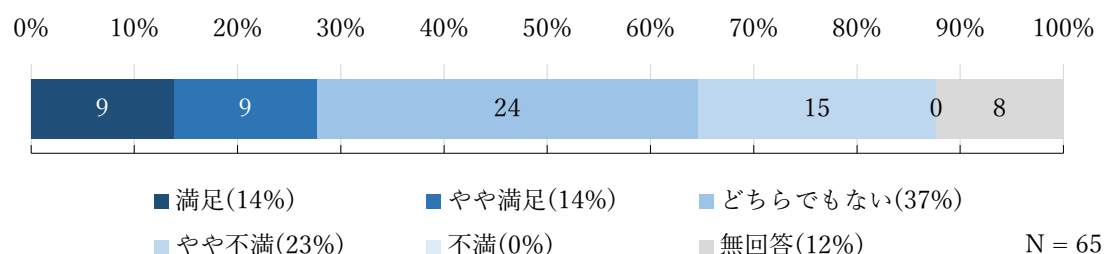


図9 メンテナンスのしやすさに関する満足度（管理者回答）

「やや満足」の主な理由としては、

- ・建物が小規模であるため管理しやすい。

などの回答があった。「やや不満」の主な理由としては、

- ・平面レイアウトが複雑で段差もあり、床面の清掃に苦慮する。
- ・敷地面積が広すぎる。

などの回答があった。

建物内の温度・湿度に関する満足度（図10）については、「やや不満（26%）」が最多であった。

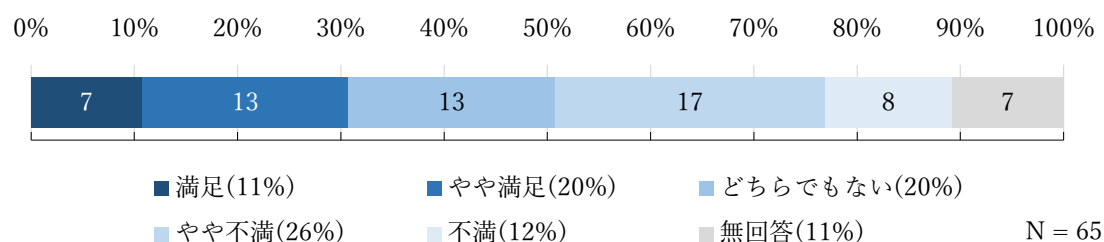


図10 建物内の温度・湿度に関する満足度（管理者回答）

「やや不満」の主な理由としては、

- ・建物周囲が開口部となっているため夏期は日射により室内温度が上昇し、野菜の鮮度を保ちにくい。また、冬期は開口部の断熱対策が不十分なため室内温度管理が困難である。
- などの回答があった。

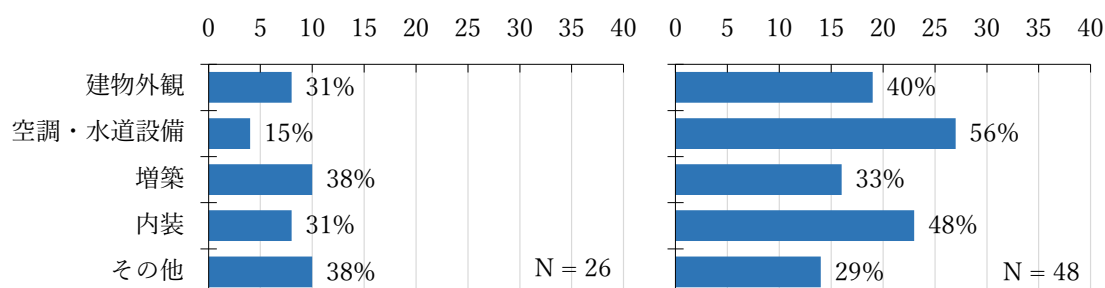
「道の駅」の建物の改修実績ならびに改修希望（図11）については、改修実績は「増築（38%）」が最多であり、主な理由としては、

- ・売場面積の拡大、地元特産品の提供機能増設のため（2008年新築建物 → 2016年増築）
- ・出店者の増加に伴う売場不足のため（2004年新築建物 → 2007年増築）

などの回答があった。

新築からわずか3年で増築している「道の駅」もあり、計画時の十分な検討や出店者数増加等への対応も考慮しておく必要がある。

改修希望は「空調・水道設備（56%）」が最多であり、回答のあった27件中22件（81%）が新築から15年以上（空調設備の一般的な耐用年数）経過している「道の駅」であった。同様に、建物外観は19件中18件（95%）、内装は22件中19件（86%）が新築から15年以上経過している「道の駅」であった。このことから、新築時から将来の改修や維持管理、ライフサイクルコスト等も考慮しておく必要がある。



【図11注記】 回答は5項目のうち複数選択

(a) 改修した点

(b) 改修したい点

図11 改修実績・改修希望（管理者回答）

（４）来場者数増加の「道の駅」の取組

対オープン年度の来場者数（図12）については、23件（35%）で減少しているものの、32件で同程度あるいは増加している「道の駅」であった。

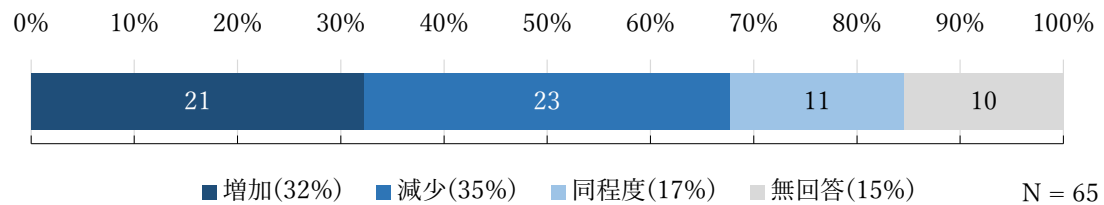
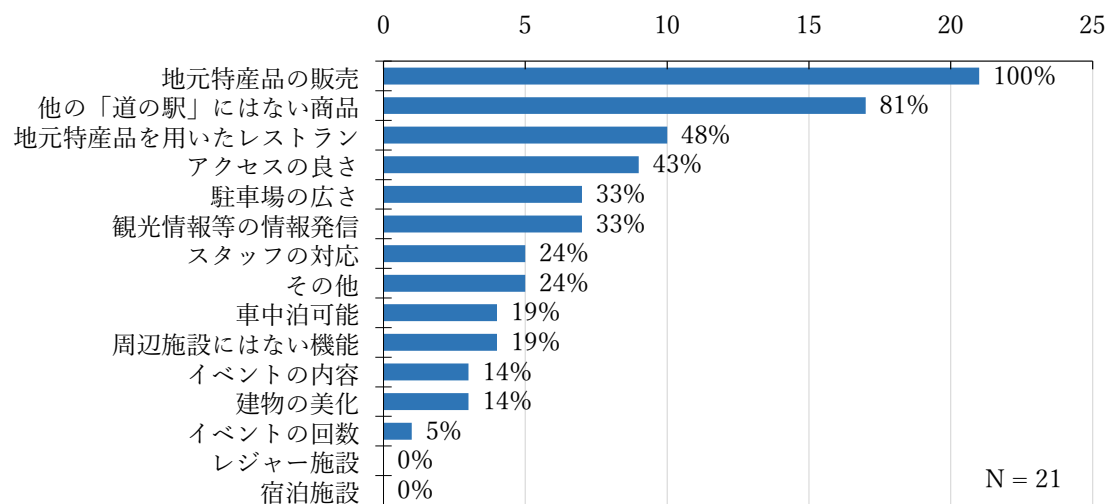


図12 対オープン年度の来場者数（管理者回答）

「道の駅」の集客効果を上げていると考えられる項目のうち、オープン年度より来場者数が増加している「道の駅」のみ抽出（図13）すると、上位3項目は図5と同じであり、特に、「地元特産品の販売」については21件（100%）であることから、集客効果を高めるための重要な要素であると考えられる。



〔図13注記〕

- 1)図5からオープン年度より来場者数が増加している「道の駅」のみ抽出
- 2)回答は15項目のうち5項目選択とし、5項目選択していない回答も含む

図13 集客効果を上げていると考えられる項目（管理者回答）

「運営上、特に力を入れている点」のうち、オープン年度よりも来場者数が増加している「道の駅」のみ抽出すると、大きく3項目に分類することができた。

1. 来場者の満足度向上・ファンの創出

- ・お客様に飽きられない為の商品構成を心がけている。
- ・地元特産品を試食・試飲いただき、ご納得いただいてから購買に繋げることで、多くのファン・リピーターを創出し、来店頻度を高めることを目指している。
- ・売店レイアウト等、四季に合わせ模様替えを行っている。

2. 目的地化するコンテンツづくり

- ・ここを目的地としてもらえるよう、わざわざ足を運ぶ価値のあるコンテンツづくりと、それを発信することが大事と考えている。

3. 地元特産品の販売・地元の方との協力

- ・生産者との密な連携、地元住民参加の店舗運営に力を入れている。
- ・販売商品のうち、地元特産品の占める割合増を目指している。

※自由記述からの抜粋

(5) まとめ

① 道内の「道の駅」の目的と効果

- ・道内の「道の駅」は128か所（2021年2月現在）登録されており、その目的の上位は「まちの情報発信（36%）」や「地元特産品の販売（23%）」であった。
- ・「道の駅」設置後、周辺施設に効果があったと回答した自治体は42件（65%）であり、「「道の駅」来場者に周辺施設で利用できるクーポンの配布」や「観光コンシェルジュの常駐による周辺施設の情報提供」等の周辺施設へ効果をもたらすための様々な取組が行われている。

② 「道の駅」の建物

- ・計画時の出店者数・商品数の十分な検討や出店者数増加等への対応も考慮しておく必要がある。
- ・新築時から将来の改修や維持管理、ライフサイクルコスト等も考慮しておく必要がある。

③ 来場者数増加の「道の駅」の取組

- ・オープン年度より来場者数が増加している「道の駅」は65件中21件（32%）であった。
- ・集客効果を上げていると考えられる上位3項目に、「地元特産品の販売」、「他の「道の駅」にはない商品」、「地元特産品を用いたレストラン」が挙げられている。特に、「地元特産品の販売」は21件中21件（100%）が回答しており、集客効果を高めるための重要な要素であると考えられる。
- ・運営上、特に力を入れている点として、「来場者の満足度向上・ファンの創出」、「目的地化するコンテンツづくり」、「地元特産品の販売・地元の方との協力」などが挙げられている。

(6) アンケート調査票

① 自治体向け

自治体様向け									
「道の駅」の新設・改修に向けた 道内全駅向けアンケート									
現在、北海道内には「道の駅」が128か所あり、今後も新たな「道の駅」の登録が進むと考えられます。近年では「道の駅」に求められる機能・役割は多岐にわたり、地域活性化の中心核となるよう、利用者のニーズに合った「道の駅」が求められています。そのため本調査では、「道の駅」を有する自治体様の「道の駅」に対するご意向などを把握し、今後の「道の駅」の新設・改修の際の参考となる基礎データを収集することを目的としています。 ※得られた結果は統計的な処理を行い、「道の駅」が特定されないように配慮します。 ※アンケート結果の集計に際して、詳細をお伺いするため個別にご連絡を差し上げることもありますので、市町村名と担当者名、連絡先をご回答ください。 【回答にあたってのお願い】 ■調査対象年度：調査票は平成31年度(令和元年度)の状況を、ご記入ください。 ■返送いただくもの： ・回答済みの調査票(ワードファイル)「自治体様向け」 ・回答済みの調査票(ワードファイル)「管理者様向け」 ・その他、併せてご提供いただきたいデータ(既存のデータで差支えございません。) ①「道の駅」の設置時の基本計画書 ②建物図面 ③過去5年間の客数、売上高データ ■ご回答期限：令和2年12月18日(金) ■その他： ・「選択」する問いに関しては、あてはまる項目の「□」をクリックしてください。選択されると「□」と表示されます。 ・数値が不明な箇所等、答えられない設問については空欄で構いません。 【お問合せ先、回答先】 (地独)北海道立総合研究機構 建築研究本部 建築性能試験センター 安全性能部 評価試験課 下ノ園(しものその) 住所：北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-20 メール：shimonosono-kei@hiro.or.jp 電話：0166-66-4235(直通) 【ご回答者様に係る情報】 <table border="1"><tr><td>市町村名</td><td></td></tr><tr><td>ご担当者様氏名</td><td></td></tr><tr><td>電話番号</td><td></td></tr><tr><td>メールアドレス</td><td></td></tr></table>		市町村名		ご担当者様氏名		電話番号		メールアドレス	
市町村名									
ご担当者様氏名									
電話番号									
メールアドレス									

I 基本情報について	
貴市町村にある「道の駅」の建設年度、設置した団体名(市町村など)、運営または管理している団体名(民間企業名など)、設置した目的について教えてください。	
(1) 「道の駅」の登録方法	□新築 □既存施設活用
(2) 建物建設年度(西暦)	年度
(3) 設置者名	
(4) 運営(管理)者名	
(5) 基本構想策定委託(受託企業名)	
(6) 建物基本設計委託(受託企業名)	
(7) 建物実施設計委託(受託企業名)	
(8) 設計者選定方法	□プロポーザル □コンペティション □指名 □その他
(9) 「道の駅」を設置した主目的や「道の駅」のコンセプトを教えてください。	
(10) 「道の駅」の基本コンセプトである「休憩機能」、「情報発信機能」、「地域連携機能」に対する取組を教えてください。	
「休憩機能」	
「情報発信機能」	
「地域連携機能」	

(次頁へ続きます)

II 建物について	
「道の駅」の制度は1993年から始まっており、20年以上経過している「道の駅」もあります。貴自治体における改修希望・実施の有無について教えてください。	
(1) 改修・増築のご希望を選択してください。	
□改修・増築したい→	① 改修したい場所をすべて選択してください。 □建物外観 □空調・水道設備 □増築 □内装 □その他 →
	② 改修・増築したい理由を教えてください。
□現状のままで良い □改修・増築済み →	① 改修した場所をすべて選択してください。 □建物外観 □空調・水道設備 □増築 □内装 □その他 →
	② 改修年度(西暦)を教えてください。 年
	③ 改修・増築した理由を教えてください。

III 「道の駅」管理方法などについて	
貴自治体と「道の駅」管理者との契約方法と「道の駅」管理者と共同で実施している活動について教えてください。	
(1) 管理方法を選択してください。	□直営 □指定管理制度 □委託 □その他 →
(2) (1)で「直営」以外を選択した方のみお答えください。 委託業務内容を教えてください。(契約書からの抜粋で差支えございません。)	
(3) 管理者様と共同で実施しているイベントや活動がありましたらご記入ください。	

(次頁へ続きます)

IV 「道の駅」の運営について	
「道の駅」に対する初期費用、補助金の有無、平成31年度(令和元年度)の来場者数・総売上額について教えてください。なお、建替えがあった場合には、建替え後の金額・数値を記入してください。	
(1) 初期費用を教えてください。	
① 建設費(建物のみ、土地代含まない)	千円
② 電気・水道等含む設備一式	千円
③ 外構(緑地や通路など)	千円
④ 駐車場整備費	千円
⑤ 家具などのインテリア費	千円
(2) 「道の駅」の設置にあたり、補助金は活用されましたか。	
□はい →	① 補助金の種類(すべて選択してください。) □内閣府：地方創生推進交付金 □国土交通省：社会資本整備総合交付金 □農林水産省：農山漁村活性化プロジェクト支援交付金 □その他： ② 補助金額合計 千円
□いいえ	
(3) 年間の来場者数(平成31年度)	千人
(4) 年間の総売上額(平成31年度)	千円
(5) 「道の駅」への委託額(平成31年度)	千円
(6) 閑散期における来場者減の対策はありますか。	

(次頁へ続きます)

② 管理者向け

管理者様向け

「道の駅」の新設・改修に向けた 道内全駅向けアンケート

現在、北海道内には「道の駅」が128か所あり、今後も新たな「道の駅」の登録が進むと考えられます。近年では「道の駅」に求められる機能・役割は多岐にわたり、地域活性化の中心となるよう、利用者のニーズに合った「道の駅」が求められています。そのため本調査では、道内「道の駅」管理者様の運営に対する所感などの現状を把握し、今後の「道の駅」の新設・改修の際の参考になる基礎データを収集することを目的としています。

※得られた結果は統計的な処理を行い、「道の駅」が特定されないように配慮します。
※アンケート結果の集計に際して、詳細をお伺いするため個別にご連絡を差し上げることもありますので、「道の駅」名と担当者名、連絡先をご回答ください。

【回答にあたってのお願い】

■調査対象年度

・調査票は平成31年度(令和元年度)の状況を、ご記入ください。

■返送いただくもの

・回答済みの調査票(ワードファイル)を市町村担当者へご返送ください。

■ご回答期限

・令和2年12月18日(金)

■その他

・「選択」する問いに関しては、あてはまる項目の「☐」をクリックしてください。選択されると「☒」と表示されます。

・数値が不明な箇所等、答えられない設問については空欄で構いません。

【お問合せ先】

(地独) 北海道立総合研究機構 建築研究本部
建築性能試験センター 安全性部 評価試験課 下ノ園(しものその)
住所: 北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-20
メール: shimonosono-kei@hro.or.jp 電話: 0166-66-4235(直通)

【ご回答者様に係る情報】

「道の駅」名	
ご担当者様氏名	
電話番号	
メールアドレス	

I 基本情報について

道の駅の管理開始年度、取り扱っている地元特産品の商品(食料品・工芸品など)などを教えてください。

(1) 「道の駅」管理開始年度(西暦)	年度
(2) 地元特産品(食料品・工芸品など)の取扱状況について教えてください。	
① 飲食店(レストラン・カフェなど)	② 物品販売(産直など)
1) 総店舗数	1) 総店舗数
2) 内、地元特産品を用いた店舗数	2) 内、地元特産品を用いた店舗数
3) 地元特産品の商品	3) 地元特産品の商品
(3) 道の駅にある施設・機能をすべて選択してください。 ↓ 選択してください。	
☐ 地元企業の出店 ☐ 役場機能(住民票の発行など) ☐ 防災機能 ☐ 交通機能(バスなど) ☐ 物流拠点(モノの一括輸送など) ☐ 医療・福祉機能 ☐ 保育・教育機能 ☐ 住民と観光客の交流機能(移住体験など)	
(4) その他、道の駅にある施設・機能をご記入ください。	

(次頁へ続きます)

II 運営状況について

道の駅の魅力ポイントや満足度を教えてください。また、道の駅で開催している朝市やお祭りといったイベントの開催回数、イベント名、集客効果に寄与している項目を教えてください。

(1) 売りにしている「魅力ポイント」を教えてください。
(2) 運営上の満足度を教えてください。 ① 商品や出店内容に対する満足度 選択してください。→ ☐ 満足 ☐ やや満足 ☐ どちらでもない ☐ やや不満 ☐ 不満 理由: _____
② 商品数に対する満足度 ☐ 多い ☐ やや多い ☐ ちょうどよい ☐ やや少ない ☐ 少ない 理由: _____
③ スタッフ人数に対する満足度 ☐ 多い ☐ やや多い ☐ ちょうどよい ☐ やや少ない ☐ 少ない 理由: _____
④ 予算に対する満足度 ☐ 満足 ☐ やや満足 ☐ どちらでもない ☐ やや不満 ☐ 不満 理由: _____
⑤ 運営上の総合的な満足度 ☐ 満足 ☐ やや満足 ☐ どちらでもない ☐ やや不満 ☐ 不満
(3) 運営上、特に力を入れている点があればご記入ください。
(4) 運営上、改善したい点があればご記入ください。
(5) 開催しているイベントについて教えてください。 ① 年間のイベント開催回数 _____ 回 ② 集客効果 いつもの _____ 倍程度 ③ 最も力を入れているイベント名を教えてください。

(次頁へ続きます)

(6) 集客効果を上げていると考えられる項目を5つ選択してください。

↓ 選択してください。		
☐ イベントの内容	☐ イベントの回数	☐ 地元特産品の販売
☐ 地元特産品を用いたレストラン	☐ レジャー施設(キャンプ場など)	☐ 他の「道の駅」にはない商品
☐ 車中泊可能	☐ アクセスの良さ	☐ 駐車場の広さ
☐ 建物の美化	☐ 宿泊施設	☐ 周辺施設にはない機能
☐ 観光情報等の情報発信	☐ スタッフの対応	
☐ その他 →		

(7) 道の駅の運営に携わっている方を教えてください。 (例: 農協、農業従事者●人、民間企業●社、観光協会、地元学校●校、NPO など)

「」

(8) 他の道の駅との連携について教えてください。 ☐ 連携している → 連携内容を教えてください。 (例) 圏域でスタンプラリーを実施している。 (例) 「道の駅: ●●」と連携体制を整え、●●を実施している。 ☐ 連携していない
--

III 建物について

建物の状況、改修希望の有無、改修の実施の有無について教えてください。

(1) 建物の満足度や状況を教えてください。(ご回答者様の所感で構いません。)
① 建物の規模(売場面積・バックヤード等) (A) ☐ 広い ☐ やや広い ☐ どちらでもない ☐ やや狭い ☐ 狭い (B) ☐ 満足 ☐ やや満足 ☐ どちらでもない ☐ やや不満 ☐ 不満 理由: _____
② スタッフ・来場者の動線(人が移動する経路) ☐ 満足 ☐ やや満足 ☐ どちらでもない ☐ やや不満 ☐ 不満 理由: _____

(次頁へ続きます)

③ バリアフリー ☐ 考慮されている ☐ どちらでもない ☐ 考慮されていない
理由: _____

④ メンテナンス（清掃や芝刈り等の施設の美化）のしやすさ
☐ 満足 ☐ やや満足 ☐ どちらでもない ☐ やや不満 ☐ 不満
理由: _____

⑤ 建物内の温度・湿度 ☐ 満足 ☐ やや満足 ☐ どちらでもない ☐ やや不満 ☐ 不満
理由: _____

⑥ 空調などのランニングコスト ☐ 満足 ☐ やや満足 ☐ どちらでもない ☐ やや不満 ☐ 不満
理由: _____

⑦ その他、建物に対するご意見等ありましたらご記入ください。

(2) 改修・増築のご希望を選択してください。
☐ 改修・増築したい → ① 改修したい場所をすべて選択してください。
☐ 建物外観 ☐ 空調・水道設備 ☐ 増築 ☐ 内装
☐ その他 → _____
② 改修したい理由を教えてください。

☐ 現状のままで良い
☐ 改修・増築済み → ① 改修した場所をすべて選択してください。
☐ 建物外観 ☐ 空調・水道設備 ☐ 増築 ☐ 内装
☐ その他 → _____
② 改修年度(西暦)を教えてください。 _____ 年
③ 改修した理由を教えてください。

(次頁へ続きます)

IV 来場者について

平成31年度(令和元年度)の道の駅の来場者について、来場者数、客層、滞在時間、客単価について教えてください。

(1) 来場者数のカウント方法 ☐ 出入口ドアの通行人数を2で割る
☐ レジ通過人数
☐ その他 _____

(2) 来場者数(四半期ごと)
1) 4～6月 _____ 千人 2) 7～9月 _____ 千人
3) 10～12月 _____ 千人 4) 1～3月 _____ 千人

(3) 多い客層性を2つ選択してください。
☐ 地元住民 ☐ 近隣市町村民 ☐ 日本人観光客 ☐ 外国人観光客
☐ その他 → _____

(4) 平日の来場の多い時間帯とその客層を教えてください。(所感で構いません)
(例: 夕方に地元の方が買い物に来ることが多い など)

(5) 休日の来場の多い時間帯とその客層を教えてください。(所感で構いません)
(例: お昼頃にバイクライダーの休憩所として利用されることが多い など)

(6) 閑散期の来場者減の対策はありますか。
「 _____
_____」

(7) 平均滞在時間(所感で構いません) 約 _____ 分

(8) 平均客単価(所感で構いません) 約 _____ 円

(9) 「道の駅」がオープンした年度と比較して来場者数に増減はありますか。
☐ 増加している(約 _____ 割) ☐ 減少している(約 _____ 割) ☐ ほとんど変わらない

(次頁へ続きます)

V 経営状況について

平成31年度(令和元年度)の売上額、支出額について教えてください。

(1) 年間の総売上額 _____ 千円

(2) 売上の多い商品を3つ教えてください。 ② 物品販売(産直など)
① 飲食店(レストラン・カフェなど)
1. _____ 1. _____
2. _____ 2. _____
3. _____ 3. _____

(3) 総売上額に対する地元特産品の売上額の割合
(おおよそで構いません) _____ %

(4) 光熱水費 約 _____ 千円

(5) 人件費 約 _____ 千円

(6) 従業員数 正社員 _____ 人 非正社員 _____ 人

(7) 除雪費 約 _____ 千円

(8) 収支状況 ☐ 黒字 ☐ 収支均衡 ☐ 赤字

VI ご意見など

そのほか、ご意見等ありましたら、ご記入ください。

調査は以上です。ご協力ありがとうございました。